

レンズ交換式デジタルカメラ

α
6000

取扱説明書

Eマウント



<http://www.sony.co.jp/DSLR/support/>

やりたいことから探す

準備する

基本操作を確認する

静止画を撮る

動画を撮る

見る

カメラの設定を変える

パソコンで見る

カメラに機能を追加する

機能を一覧で確認する



電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

⚠ 警告 安全のために

→ 114~118ページも
あわせてお読みください。

誤った使いかたをしたときに生じる感電や傷害など人への危害、また火災などの財産への損害を未然に防止するため、次のことを必ずお守りください。



「安全のために」の注意事項を守る

定期的に点検する

1年に1度は、電源プラグ部とコンセントの間にほこりがたまっていないか、電源コードに傷がないか、故障したまま使用していないか、などを点検してください。

故障したら使わない

カメラやACアダプター、バッテリー・チャージャーなどの動作がおかしくなったり、破損していることに気がついたら、すぐに相談窓口へご相談ください。

万一、異常が起きたら

変な音・
においがしたら
煙が出たら

- ➡ ① 電源を切る
② 電池をはずす
③ 相談窓口に連絡する

裏表紙に相談窓口の連絡先があります。

⚠ 危険 万一、電池の液漏れが起きたら

- ① すぐに火気から遠ざけてください。漏れた液体や気体に引火して発火、破裂のおそれがあります。
- ② 液が目に入った場合は、こすらず、すぐに水道水などきれいな水で充分に洗ったあと、医師の治療を受けてください。
- ③ 液を口に入れたり、なめた場合は、すぐに水道水で口を洗浄し、医師に相談してください。
- ④ 液が身体や衣服についたときは、水でよく洗い流してください。

警告表示の意味

この取扱説明書や製品では、次のような表示をしています。

⚠ 危険

この表示のある事項を守らないと、極めて危険な状況が起こり、その結果大けがや死亡にいたる危害が発生します。

⚠ 警告

この表示のある事項を守らないと、思わぬ危険な状況が起こり、その結果大けがや死亡にいたる危害が発生することがあります。

⚠ 注意

この表示のある事項を守らないと、思わぬ危険な状況が起こり、けがや財産に損害を与えることがあります。

注意を促す記号



火災



感電

行為を禁止する記号



禁止



分解禁止



ぬれ手禁止

行為を指示する記号



フлагをコンセントから抜く



指示

電池について

安全のためにの文中の「電池」とは、「バッテリーパック」も含みます。

お使いになる前に必ずお読みください

表示言語について

本機では、日本語のみに対応しています。その他の言語には変更できません。

メモリーカードのバックアップについて

アクセスランプ点灯中に電源を切ったり、バッテリーやメモリーカードを取り出したりすると、メモリーカードのデータが壊れことがあります。データ保護のため必ずバックアップをお取りください。

本機搭載の機能について

- 本機は1080 60i対応機です。
- 本機は、1080 60pの動画に対応しています。1080 60pとは、従来の標準的な記録モードがインターレースで記録するのとは異なり、プログレッシブで記録します。これにより解像度が増え、滑らかでよりリアルな映像を撮影することができます。

管理ファイル作成について

管理ファイルが作成されていないメモリーカードを本機に挿入し電源を入れると、メモリーカードの一部の容量を使って自動的に管理ファイルを作成するため、次の操作まで時間がかかることがあります。

管理ファイルエラーが発生したときは、PlayMemories Home™ すべての画像をパソコンに取り込んでから、本機でメモリーカードをフォーマットしてください。

録画・再生に際してのご注意

- メモリーカードの動作を安定させるために、メモリーカードを本機ではじめてお使いになる場合には、まず、本機でフォーマットすることをおすすめします。

フォーマットすると、メモリーカードに記録されているすべてのデータは消去され、元に戻すことはできません。大切なデータはパソコンなどに保存しておいてください。

- 長期間、画像の撮影・消去を繰り返しているとメモリーカード内のファイルが断片化(フラグメンテーション)して、動画記録が途中で停止してしまう場合があります。このような場合は、パソコンなどに画像を保存したあと、[フォーマット](99ページ)を行ってください。
- 必ず事前にためし撮りをして、正常に記録されていることを確認してください。
- 本機は防じん、防滴、防水仕様ではありません。「使用上のご注意」もご覧ください(111ページ)。
- 本機をぬらさないでください。水滴が内部に入り込むと、故障の原因になるだけでなく、修理できなくなることもあります。
- カメラを太陽など強い光源へ向けてください。内部の部品が破損するおそれがあります。

- 取りはずしたレンズを通して、太陽や強い光を見ないでください。目に回復不可能なほどの障害をきたすおそれがあります。また故障の原因になります。
- 強力な電波を出すところや放射線のある場所で使わないでください。正しく撮影・再生ができないことがあります。
- 砂やほこりの舞っている場所でのご使用は故障の原因になります。
- 結露が起きたときは、結露を取り除いてからお使いください(111ページ)。
- 本機に振動や衝撃を与えないでください。誤作動したり、画像が記録できなくなるだけでなく、記録メディアが使えなくなったり、撮影済みの画像データが壊れことがあります。
- フラッシュの表面の汚れは取り除いてください。フラッシュ表面の汚れが発光による熱で発煙したり、焦げる場合があります。汚れ・ゴミがある場合は柔らかい布などで清掃してください。

保管方法

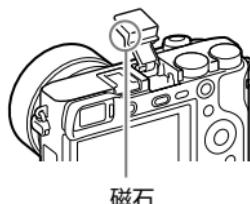
使用しないときは、必ずレンズフロントキャップを付けてください。

モニターおよびファインダー、レンズについてのご注意

- モニターやファインダーは有効画素99.99%以上の非常に精密度の高い技術で作られていますが、黒い点が現れたり、白や赤、青、緑の点が消えないことがあります。これは故障ではありません。これらの点は記録されません。
- モニターを持って本機を持ち運ばないでください。
- 電動ズームレンズ使用時は、レンズ駆動時に物や指を引き込まれないように注意してください。

磁石について

本機では下記の位置に磁石が設置されています。クレジットカードなど磁気の影響を受けるものを近づけないでください。



ファインダーでの撮影について

ファインダーを使用中、目の疲労、疲れ、気分が悪くなる・乗り物酔いに似た症状が出ることがあります。ファインダーを使用するときは、定期的に休憩をとることをおすすめします。

必要な休憩の長さや頻度は個人によって異なりますので、ご自身でご判断ください。不快な症状が出たときは、回復するまでファインダーの使用を控え、必要に応じて医師にご相談ください。

レンズとアクセサリーについてのご注意

本機には、カメラの特性に適合するよう設計されたソニー製レンズ/アクセサリーのご使用をおすすめします。他社製品と組み合わせて使用した際の性能や、それによって生じた事故や故障につきましては保証いたしかねますので、あらかじめご了承ください。

フラッシュについて

- フラッシュ部を持ったり、無理な力を加えないでください。
- 上がったフラッシュ部に水滴や砂埃が入ると故障の原因になります。
- フラッシュ部を下げるときに手を挟まないように注意してください。

本機の温度について

本機を連続して使用した場合、本体やバッテリーの温度が高くなりますが、故障ではありません。

温度保護機能について

本機やバッテリーの温度によっては、カメラを保護するために自動的に電源が切れたり、動画撮影ができなくなることがあります。電源が切れる前や撮影ができなくなった場合は、モニターにメッセージが表示されます。このような場合、本機やバッテリーの温度が充分下がるまで電源を切ったままお待ちください。充分に温度が下がらない状態で電源を入れると、再び電源が切れたり動画撮影ができなくなることがあります。

画像の互換性について

- 本機は、(社)電子情報技術産業協会(JEITA)にて制定された統一規格“Design rule for Camera File system”(DCF)に対応しています。
- 本機で撮影した画像の他機での再生、他機で撮影/修正した画像の本機での再生は、ともに保証いたしません。

AVCHD動画のパソコンへの取り込

みについて

AVCHD動画をパソコンに取り込むときは、ソフトウェアPlayMemories Homeをwww.sony.net/pm/からインストールして使用してください。

無線に関する機能(Wi-Fiなど)を一時的に無効にする

無線に関する機能は、[飛行機モード]で一時的に無効にできます。

認証マークの表示について

本機が対応している認証マークの一部は、本機の画面上で確認することができます。

MENUボタン →  (セットアップ) 6 → [認証マーク表示] を選択してください。

本機の故障などの問題により表示できない場合は、相談窓口にご相談下さい。

本機で撮影した動画を、他機で再生する際のご注意

- 本機は、AVCHD方式の記録にMPEG-4 AVC/H.264のHigh Profileを採用しております。このため、本機でAVCHD方式で記録した動画は、次の機器では再生できません。
 - High Profileに対応していない他のAVCHD規格対応機器
 - AVCHD規格非対応の機器また、本機は、MP4方式の記録にMPEG-4 AVC/H.264のMain Profileを採用しております。このため、本機でMP4方式で記録した動画はMPEG-4 AVC/H.264の対応機器以外では再生できません。
- ハイビジョン画質(HD)で記録したディスクはAVCHD規格対応機器でのみ、再生できます。DVDプレーヤーやDVDレコーダーはAVCHD規格に非対応のため、ハイビジョン画質(HD)で記録したディスクを再生できません。また、これらの機器にAVCHD規格で記録したハイビジョン画質(HD)のディスクを入れた場合、ディスクの取り出しができなくなる可能性があります。
- 1080 60pの動画は対応機器以外では再生できません。

機器認定について

本製品は、電波法に基づく小電力データ通信システムの無線局の無線設備として、工事設計認証を受けています。したがって、本製品を使用するときに無線局の免許は必要ありません。

ただし、以下の事項を行うと法律に罰せられることがあります。

- 本製品を分解/改造すること

周波数について

本製品は2.4GHz帯で使用できますが、他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあります。他の無線機器との電波干渉を防止するため、下記事項に注意してご使用ください。

この機器のネットワークモードでの使用時の注意事項

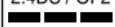
本製品の使用周波数は2.4GHz帯です。この周波数帯では電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ライン等で使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定の小電力無線局、アマチュア無線局（免許を要する無線局）等（以下「他の無線局」と略す）が運用されています。

1. 本製品を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。

2. 万一、本製品と「他の無線局」に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用場所を変えるか、電波の発射を停止してください。

3. その他、この機器から「他の無線局」に対して有害な電波干渉の実例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、相談窓口へお問い合わせください。相談窓口については、本取扱説明書の裏表紙をご覧ください。

2.4DS / OF2



この無線機器は2.4GHz帯を使用します。変調方式としてDSSS/OFDM変調方式を採用し、与干渉距離は20m以下です。

ワイヤレスLANに関するご注意

紛失や盗難などによって本機に搭載されている接続先への不正アクセスや利用などが行われ、被害や損害が発生しても、弊社では一切の責任を負いかねます。

ワイヤレスLAN機能の使用地域について

ワイヤレスLAN機能は、日本国内でのみ使用できます。

著作権について

あなたがカメラで撮影したものは、個人として楽しむほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興行、展示物などの中には、個人として楽しむなどの目的があっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。

撮影内容の補償はできません

万一、カメラや記録メディアなどの不具合により撮影や再生がされなかった場合、画像や音声などの記録内容の補償については、ご容赦ください。

目次

安全のために	2
お使いになる前に必ずお読みください	3
詳しく知りたい(ヘルプガイド)	11
やりたいことから探す	
やりたいことから探す	12
準備する	
付属品を確認する	14
ショルダーストラップを使う	15
各部の名前を確認する	16
レンズ	20
バッテリーとメモリーカード(別売)を入れる	21
メモリーカードを取り出す	21
バッテリーを取り出す	22
バッテリー充電と使用可能枚数/時間	23
パソコンに接続して充電する	24
バッテリーの使用時間と撮影/再生枚数	25
レンズを取り付ける/はずす	26
レンズを取りはずす	27
日付と時刻を設定する	28
日付と時刻を確認する/合わせ直す	29
基本操作を確認する	
操作方法を確認する	30
コントロールホイールの使いかた	30
コントロールダイヤルの使いかた	31
Fn(ファンクション)ボタンで選ぶ	32
MENUボタンで選ぶ	33
カメラ内ガイドを見る	34
撮影アドバイスを見る	34

静止画を撮る

自動で最適な設定で撮る(オート撮影)	35
状況を自動判別して撮る(おまかせオート/プレミアムおまかせオート)	36
オート撮影の特徴	37
ズームする	38
ズーム倍率	39
フラッシュを発光する	40
使用可能なフラッシュモード	41
モニター表示を変える(DISP)	42
画像のサイズを選ぶ	44
画質を選ぶ(RAW/JPEG)	45
静止画の撮影モードを変える(モードダイヤル)	46
カメラまかせで自動撮影する	46
好みの設定で撮影する	47
その他の撮影モードで撮影する	47
パノラマ画像を撮る	48
場面に合った撮影モードを使う	
(シーンセレクション)	50
絞りとシャッタースピードを好みの設定にする	51
背景のぼかし具合を調節して撮る(絞り優先)	51
動くものの表現を変えて撮る	
(シャッタースピード優先)	52
思い通りの露出で撮る(マニュアル露出)	53
ピントを合わせる	54
ピント合わせの方法を選ぶ	54
ピントを合わせるエリアを選ぶ	
(フォーカスエリア)	55
被写体にピントを合わせ続けて撮る	
(ロックオンAF)	56
瞳にピントを合わせる(瞳AF)	57
ピントを手動で好みの位置に合わせる	
(マニュアルフォーカス)	58
好みの画像の仕上がりで撮る	
(クリエイティブスタイル)	60
好みの効果を使って印象的に撮る	
(ピクチャーエフェクト)	62

明るさを調整する(露出補正)	64
ISO感度を選ぶ.....	65
連続して撮る(連写)	66
セルフタイマーで撮る	68
かんたんな操作で好みの設定にして撮る (マイフォトスタイル)	69
撮影機能を自分好みにカスタマイズする.....	70
登録した設定を呼び出して撮影する	70
Fn(ファンクション)ボタンの設定機能を変える	71
カスタムキーの設定機能を変える	72

動画を撮る

動画を撮る	73
動画の記録方式/画質を選ぶ.....	74
絞りとシャッタースピードを設定して 動画を撮る	75

見る

静止画を見る	76
動画を見る	77
素早く探す(一覧表示)	78
削除する	79
その他の再生機能を使う	79

カメラの設定を変える

電子音の設定を変える	80
------------------	----

パソコンで見る

PlayMemories Homeを使う	81
PlayMemories Homeでできること	81
PlayMemories Homeをインストールする	82
Image Data Converterを使う	84
Image Data Converterでできること	84
Image Data Converterをインストールする	84
Image Data Converterガイドを見る	85
Remote Camera Controlでできること	86
Remote Camera Controlをインストールする	86

カメラに機能を追加する

カメラに機能を追加する	87
アプリケーションをダウンロードする	87
アプリケーションを起動する	88

機能を一覧で確認する

MENUボタンで選ぶ機能一覧	89
 (撮影設定)	89
 (カスタム設定)	92
 (ワイヤレス)	96
 (アプリケーション)	96
 (再生)	97
 (セットアップ)	97
撮影モードごとの設定できない機能	100
モニターに表示されるアイコン一覧	101

その他

使用できるメモリーカード	104
静止画の記録可能枚数と動画の記録可能時間	105
静止画	105
動画	106
故障かな?と思ったら	107
使用上のご注意	111
保証書とアフターサービス	113
安全のために	114
主な仕様	119
索引	123

- Wi-Fiを使った機能については別紙の「Wi-Fi機能/NFCワンタッチ機能を使いのお客様へ」をご覧ください。

本書では付属するレンズが異なる機種をまとめて記載しています。
レンズによって、機種名が変わります。

機種名	付属されるレンズ
ILCE-6000	なし
ILCE-6000L	E16-50mm
ILCE-6000Y	E55-210mmとE16-50mm

詳しく知りたい（ヘルプガイド）



「ヘルプガイド」はオンラインで見るマニュアルです。
本書と併せてご活用ください。
さらに詳しい使いかたをご覧いただけます。

1 サポートページにアクセスする。

http://www.sony.jp/support/manual_dslr.html

2 サイト内で本機の型名を探して「ヘルプガイド（HTML）」を開く。

型名は本機の底面をご覧ください。

検索エンジンで探す

お使いの検索エンジンで「型名」、「ヘルプガイド」を入力して検索することもできます。

やりたいことから探す

カメラまかせできれいに撮りたい

+(プレミアムおまかせオート)で撮る	36, 46
シーンセレクションで好みのモードを選んで撮る	50

動画を撮りたい

MOVIE(動画)ボタンでかんたんに撮る	73
動画の記録方式と画質を設定する	74
好みの設定で動画を撮る	75

薄暗い場所でもブレずに撮りたい

+(プレミアムおまかせオート)で撮る	36, 46
シーンセレクションの (手持ち夜景)、 (人物ブレ軽減)で撮る	50
ISO感度を上げる	65
セルフタイマーを使って手ブレを抑える	68
フラッシュを発光して撮る	40

動いている被写体を撮りたい

シーンセレクションの (スポーツ)を使う	50
ロックオンAFでピントを合わせ続ける	56
連続撮影で複数枚撮る	66
シャッタースピードを上げてブレずに撮る	52

背景をぼかして撮りたい

絞りを好みの設定にして撮る	51
---------------	----

逆光でもきれいに撮りたい

+(プレミアムおまかせオート)で撮る	36, 46
フラッシュを発光して撮る	40

被写体に近づいて撮りたい

シーンセレクションの  (マクロ) で撮る 50

好みの設定で思いどおりに撮りたい

多彩な機能を設定できる撮影モードにする

(撮影モード P/A/S/M) 37, 51, 52, 53

ピントを手動で好みの位置に合わせる 58

かんたんな操作で設定を変更して撮る

(マイフォトスタイル) 69

気にいった設定をカメラに覚えさせる 70

Fn (ファンクション) ボタンで好みの設定にする 32

画像の横縦比を変えて撮る 44, 89

日付を設定したい

日付を設定する/変更する 28, 99

パソコンに画像を取り込んで観賞したい

PlayMemories Homeをインストールする 82

動画のディスクを作成したい

AVCHD動画からディスクを作成する 81

カメラにアプリケーションを追加したい

アプリケーションをダウンロードする 87

Wi-Fi機能を使いたい

- Wi-Fiを使った機能については別紙の「Wi-Fi機能/NFCワンタッチ機能を使いのお客様へ」をご覧ください。

付属品を確認する

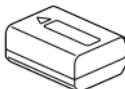
ご自分のカメラの機種名をご確認の上(10ページ)、付属品をお確かめください。

万一、不足の場合はお買い上げ店にご相談ください。

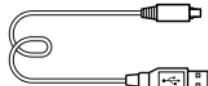
()内の数字は個数です。

全機種共通

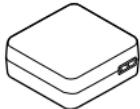
- リチャージャブルバッテリー
パックNP-FW50 (1)



- マイクロUSBケーブル (1)



- ACアダプター
AC-UB10C/UB10D (1)



- ショルダーストラップ (1)



- アイピースカップ (1)



- 取扱説明書(本書) (1)

- 保証書 (1)

ILCE-6000

- ボディキャップ(1)
(本機に装着)

ILCE-6000L

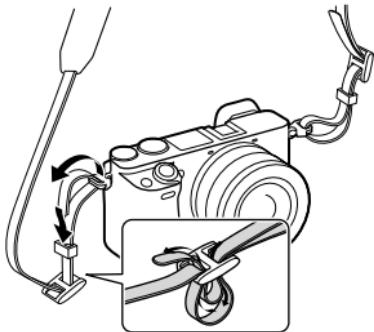
- E16-50mmズームレンズ(1)
(レンズフロントキャップ含む)
(本機に装着)

ILCE-6000Y

- E16-50mmズームレンズ(1)
(レンズフロントキャップ含む)
(本機に装着)
- E55-210mmズームレンズ(1)
(レンズフロントキャップ、レンズズリヤキャップ含む) / レンズフード(1)

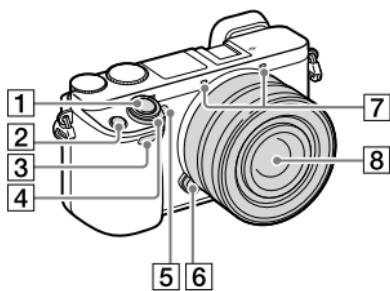
ショルダーストラップを使う

落下防止のため、
ショルダーストラップを取り付け
てご使用ください。

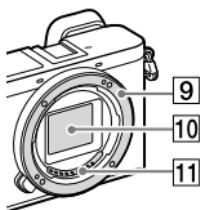


各部の名前を確認する

()内の数字は参照ページです。



レンズ取りはずし時

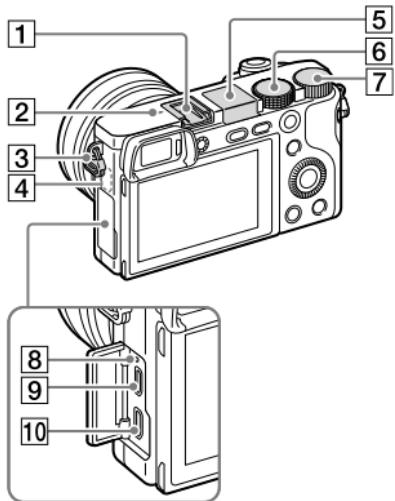


- ① シャッター ボタン (35)
- ② C1(カスタム1) ボタン
- ③ リモコン受光部
- ④ ON/OFF(電源)スイッチ
(28)

- ⑤ セルフタイマーランプ(68) / AF補助光(90)
- ⑥ レンズ取りはずしボタン (27)
- ⑦ マイク¹⁾
- ⑧ レンズ(26)
- ⑨ マウント
- ⑩ イメージセンサー²⁾
- ⑪ レンズ信号接点²⁾

¹⁾ 動画撮影時はふさがないでください。

²⁾ 直接手で触れないでください。



- ① マルチインターフェース
シュー¹⁾**
- ② \ominus イメージセンサー位置
表示**
- ③ ショルダーストラップ
取り付け部(15)**
- ④ Wi-Fi受信部(内蔵)**
- ⑤ フラッシュ(40)**
- 発光させるには、 \blacktriangleleft (フラッシュ
ポップアップ)ボタンを押して
ください。フラッシュ発光部は
自動でポップアップしません。
 - フラッシュを使わないときは、
手で押して元に戻してください。
- ⑥ モードダイヤル(46)**
- ⑦ コントロールダイヤル(31)**
- ⑧ 充電ランプ(23)**

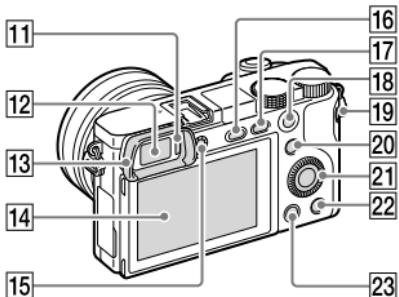
⑨ マルチ/マイクロUSB端子¹⁾

- この端子にはマイクロUSB規格に対応した機器をつなぐこ
とができます。

⑩ HDMIマイクロ端子

- ¹⁾ マルチインターフェースシュー、
マルチ/マイクロUSB端子対応アクセサリーについて詳しくは、専用サポートサイトでご確認ください。
<http://www.sony.co.jp/DSLR-support/>
- アクセサリーシュー対応のアクセサリーも使用できます。他社のアクセサリーを取り付けた場合の動作は保証できません。

ni Multi
Interface Shoe
Accessory Shoe



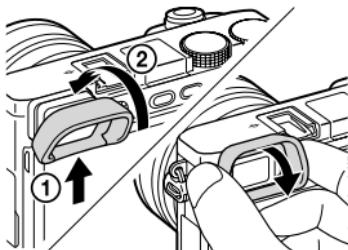
[11] アイセンサー

[12] ファインダー

[13] アイピースカップ

- 出荷時は本機に装着されていません。ファインダーで撮影するときは、アイピースカップを取り付けることをおすすめします。

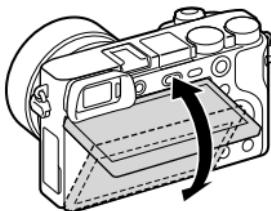
取り付けかた/はずしかた



- マルチインターフェース shoeに別売アクセサリーを取り付けるときは、アイピースカップをはずしてください。

[14] 液晶モニター

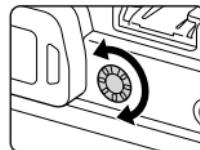
- モニターを見やすい角度に調整して、自由なポジションで撮影できます。



- 取り付ける三脚によってはモニターの角度が調整できなくなる場合があります。その場合、一度三脚ネジを緩めてからモニターの角度を調整してください。

[15] 視度調整ダイヤル

- ファインダー内の画像表示がはっきり見えるように、ご自身の視力に合わせてダイヤルを回します。視度調整ダイヤルが回しにくいときは、アイピースカップをはずしてから操作してください。



**[16] ⚡(フラッシュポップアップ)ボタン(40)
メニュー**

[17] MENUボタン(33)

**[18] 撮影時 : AELボタン
再生時 : 再生ズーム(76)**

ムービー
⑯ MOVIE(動画)ボタン(73)

ファンクション

⑰ 撮影時 : Fnボタン(32)

再生時 : ▶(スマートフォン転送)ボタン

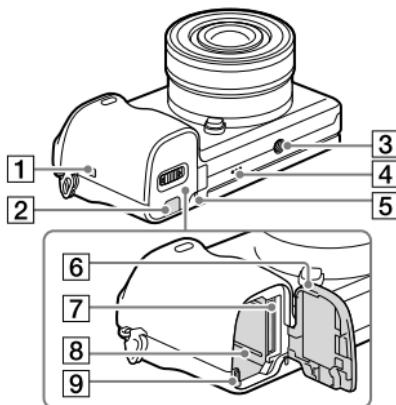
- このボタンを押すことでスマートフォン転送画面になります。

㉑ コントロールホイール(30)

㉒ C2(カスタム2)ボタン/

▲(削除)ボタン(79)

㉓ ▶(再生)ボタン(76)



① ■(Nマーク)

- NFC機能搭載のスマートフォンと本機を無線接続するときにタッチします。
- NFC(Near Field Communication)は近距離無線通信技術の国際標準規格です。

② 接続プレートカバー

ACアダプターAC-PW20

(別売)を使うときに使います。バッテリー挿入口に接続プレートを入れ、図のように接続プレートカバーからコードを出します。



- カバーを閉じるときは、コードを挟まないように気をつけてください。

③ 三脚用ネジ穴

- ネジの長さが5.5mm未満の三脚を使う。ネジの長さが5.5mm以上の場合、本機を三脚にしっかりと固定できず、本機を傷つけることがあります。

④ スピーカー

⑤ アクセスランプ(21)

⑥ バッテリー/メモリーカードカバー(21)

⑦ メモリーカード挿入口(21)

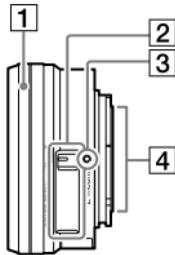
⑧ バッテリー挿入口(21)

⑨ バッテリー取りはずしつまみ(22)

レンズ

レンズの仕様は121ページをご覧ください。

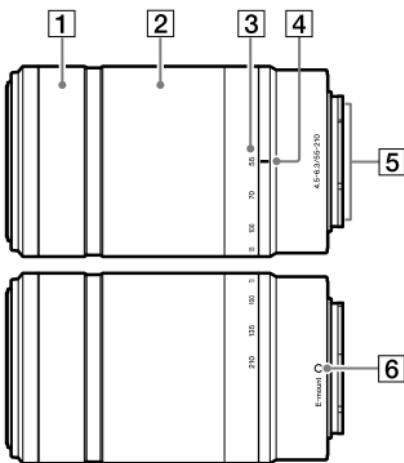
E PZ 16-50mm F3.5-5.6 OSS
(ILCE-6000L/ILCE-6000Yに付属)



- ① ズーム/フォーカスリング
- ② ズームレバー
- ③ マウント標点
- ④ レンズ信号接点¹⁾

¹⁾ 直接手で触れないでください。

E55-210mm F4.5-6.3 OSS
(ILCE-6000Yに付属)



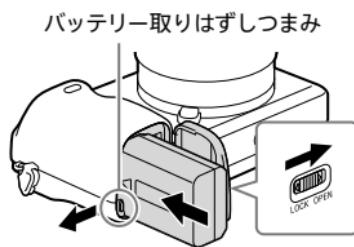
- ① フォーカスリング
- ② ズームリング
- ③ 焦点距離目盛
- ④ 焦点距離指標
- ⑤ レンズ信号接点¹⁾
- ⑥ マウント標点

¹⁾ 直接手で触れないでください。

バッテリーとメモリーカード(別売)を入れる

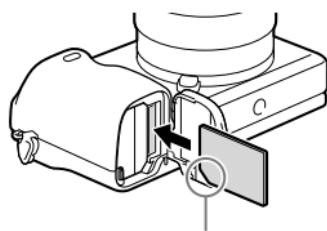
1 カバーを開けてバッテリーを入れる。

- バッテリーの向きを確認し、バッテリー取りはずしつまみを押しながら入れます。



2 メモリーカード(別売)を入れる。

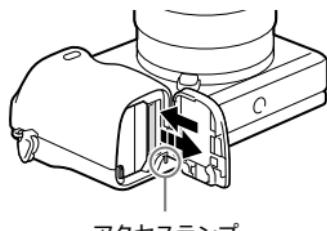
- 切り欠き部をイラストの向きにして入れます。
- 本機で使用できるメモリーカードについては、104ページをご覧ください。



3 カバーを閉じる。

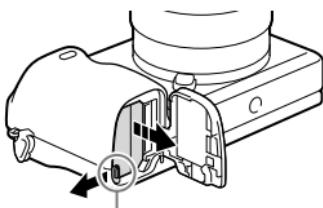
メモリーカードを取り出す

アクセスランプが消えていることを確認して、メモリーカードを押す。



バッテリーを取り出す

バッテリー取りはずしつまみをずらす。
バッテリーが押し出されるので、落下
しないように注意する。



バッテリー取りはずしつまみ

ご注意

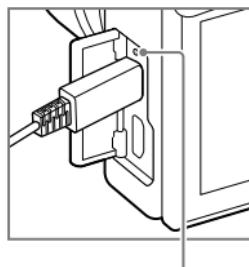
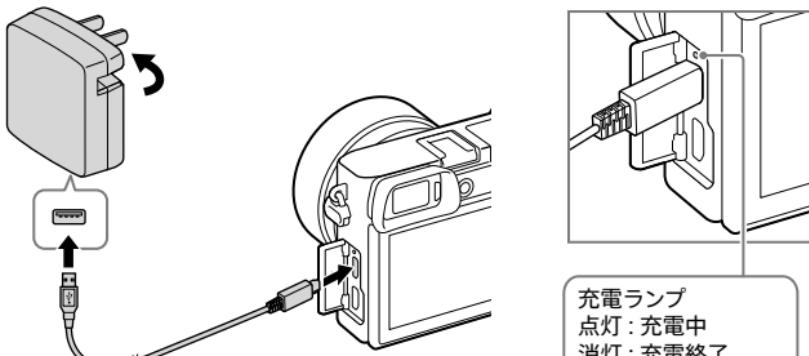
- アクセスランプ点灯中は、メモリーカードやバッテリーを取り出さないでください。データやメモリーカードが壊れることがあります。

バッテリー充電と使用可能枚数/時間

初めてお使いになるときは、バッテリーを充電してください。

充電したバッテリーは、使わなくとも少しづつ放電しています。撮影機会を逃さないためにも、ご使用前に充電してください。

-
- 1 バッテリーを入れた本機とACアダプター(付属)をマイクロUSBケーブル(付属)でつなぎ、ACアダプターをコンセントに差し込む。**
- 充電は本機の電源を切った状態で行ってください。



充電ランプ
点灯：充電中
消灯：充電終了
点滅：充電エラー、
または温度が適切な
範囲にないための充
電一時待機

充電時間の目安(満充電)

約310分で充電できます。

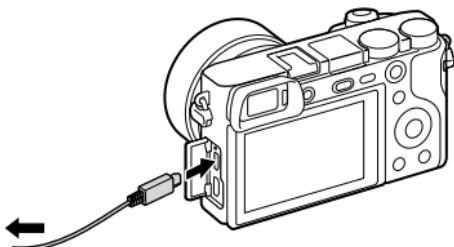
- 残量があるバッテリーも充電できます。
- バッテリー(付属)を使い切ってから、温度25 °Cの環境下で充電したときの時間です。使用状況や環境によっては、長くかかります。
- 充電の状態を知るには、マイクロUSBケーブルを抜いた状態でモニターに表示される (バッテリー容量) でご確認ください(101ページ)。

ご注意

- 充電ランプが点滅し充電が完了しなかった場合は、一度バッテリーを取りはずし、再度装着してください。
- バッテリーの充電は周囲の温度が10°C～30°Cの環境で行ってください。
- ACアダプターは手近なコンセントを使用してください。本機を使用中、不具合が生じたときはすぐにコンセントからプラグを抜き、電源を遮断してください。
- 充電が終わったら、ACアダプターをコンセントから抜いてください。
- 必ずソニー製純正のバッテリー、付属のマイクロUSBケーブル、ACアダプターをお使いください。
- 本機と付属のACアダプターをつないだ状態で撮影や再生を行っても、電力は供給されません。ACアダプターAC-PW20(別売)を使用すると電力が供給された状態で撮影、再生を行えます。

パソコンに接続して充電する

マイクロUSBケーブルを使って、パソコンからの充電も可能です。
本機の電源を切った状態でつないでください。



パソコンのUSB端子へ

ご注意

- パソコンから充電するときは、以下の点にもご注意ください。
 - 電源を接続していないノートパソコンと本機を接続した場合、ノートパソコンの電池が消耗していきます。長時間充電しないでください。
 - 本機をUSB接続したままパソコンの起動、再起動、スリープモードからの復帰、終了操作を行わないでください。本機が正常に動作しなくなることがあります。これらの操作は、パソコンから本機を取りはずしてから行ってください。
 - 自作のパソコンや改造したパソコンでの充電は保証できません。

バッテリーの使用時間と撮影/再生枚数

		使用時間	枚数
静止画撮影	モニター	約180分	約360枚
	ファインダー	約155分	約310枚
実動画撮影	モニター	約60分	—
	ファインダー	約60分	—
連続動画撮影	モニター	約90分	—
	ファインダー	約90分	—
静止画再生		約275分	約5500枚

ご注意

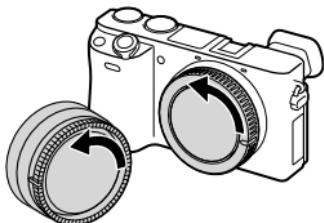
- 撮影枚数は満充電されたバッテリーを使用した場合の目安です。撮影枚数は使用方法により減少する場合があります。
- 撮影枚数は、以下の条件で撮影した場合です。
 - 当社製のメモリースティック PRO デュオ (Mark2) (別売) を使用
 - E PZ 16-50mm F3.5-5.6 OSSレンズを使用
 - 温度25°Cの環境
 - [ファインダー明るさ] : [マニュアル] [±0]
 - [モニター明るさ] : [マニュアル] [±0]
- 静止画撮影時の数値は、CIPA規格により、以下の条件で撮影した場合です。
(CIPA : カメラ映像機器工業会、
Camera & Imaging Products Association)
 - DISP : [全情報表示]
 - [フォーカスマード] : [AF制御自動切り替え]
 - 30秒ごとに1回撮影
 - 2回に一度、フラッシュを発光する。
 - 10回に一度、電源を入/切する。
- 動画撮影時の数値は、CIPA規格により、以下の条件で撮影した場合です。
 - 記録設定 : 60i 17M(FH)
 - 実動画撮影 : 撮影、ズーム、撮影スタンバイ、電源入/切を繰り返した場合の目安。
 - 連続動画撮影 : 連続撮影の制限(29分)により撮影が終了したときは、再度 MOVIE(動画)ボタンを押して撮影を続ける。ズームなどその他の操作はしない。
- バッテリー残量が表示されない場合は、DISP(画面表示切換)を押して表示してください(42ページ)。

レンズを取り付ける/はずす

レンズの取り付け/取りはずしは、本機の電源を「OFF」にしてから行ってください。

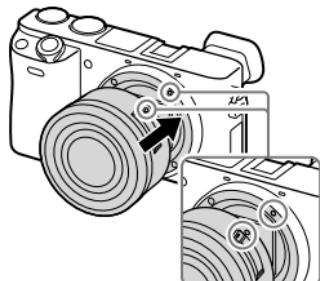
1 カメラやレンズに、キャップやカバーが付いている場合ははずす。

- カメラ内部にゴミやほこりが入らないように、ほこりの少ない場所で素早く行ってください。



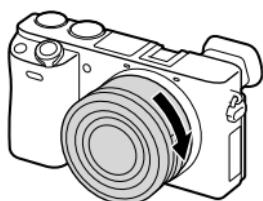
2 レンズと本機の2つの白色の点を合わせてはめ込む。

- ゴミやほこりが入らないよう、マウントを下向きにして取り付けてください。



3 レンズを軽く本機に押し付けながら、「カチッ」と音がするまで矢印の方向にゆっくり回す。

- レンズを斜めに差し込まないでください。



ご注意

- レンズを取り付けるときは、レンズ取りはずしボタンを押さないでください。
- レンズに無理な力を加えないでください。
- Aマウントレンズ(別売)をご使用の場合は、マウントアダプター(別売)が必要です。詳しくはマウントアダプターの取扱説明書をご覧ください。
- 三脚座を備えたレンズを使用するときは、重量のバランスをとるためにレンズ側の三脚座を三脚に取り付けて使用してください。

レンズを取りはずす

- 1 レンズ取りはずしボタンを押しながら、レンズを矢印の方向に止まるまで回して取りはずす。



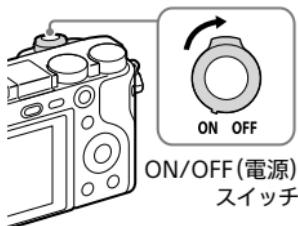
ご注意

- レンズ交換の際に、カメラ内にゴミやほこりが入ってイメージセンサー(光を電気信号に変える部分)表面に付着すると、撮影条件によっては、ゴミやほこりが画像に写り込むことがあります。イメージセンサーはアンチダストコートティングにより、ゴミやほこりが付きにくくなっていますが、レンズの取り付け/取りはずしを行う際は、ほこりの少ない場所で素早く行ってください。
- ゴミがイメージセンサーに付着した場合はプロアで清掃してください。
- レンズをはずした状態のまま、カメラを放置しないでください。
- ボディキャップ、レンズリヤキャップをご使用の際は、別売のALC-B1EM(ボディキャップ)、ALC-R1EM(レンズリヤキャップ)をご購入ください。
- 電動ズームレンズ使用時は、カメラの電源スイッチを「OFF」にしてレンズが収納されたことを確認してから、レンズを交換してください。レンズが出たままの場合は無理やり押し込まないでください。
- 三脚に取り付ける場合、雲台(三脚座)にズーム/フォーカスリング部が干渉しないように取り付けてください。

日付と時刻を設定する

-
- 1 ON/OFF(電源)スイッチを「ON」にする。

電源が入る。



- 2 [実行]が選ばれていることを確認し、コントロールホイール中央の●を押す。



- 3 [東京/ソウル]が選ばれていることを確認し、中央の●を押す。

- 4 コントロールホイールの▲/▼を押す、またはホイールを回して設定する項目を選び、中央の●を押す。

- 5 ▲/▼/◀/▶を押す、またはホイールを回して希望の設定を選び、中央の●を押す。

・[日時]を設定する場合、真夜中は12:00AM、正午は12:00PMとなります。

- 6 手順4、5を繰り返して、すべて設定し、[実行]を選んで中央の●を押す。
-

日付と時刻を確認する/合わせ直す

はじめて電源を入れたときのみ、自動で日時設定画面が開きます。日時を合わせ直すときは、MENUボタンを押して、 (セットアップ) 4 → [日時設定] を選び、日時設定画面を開いてください。

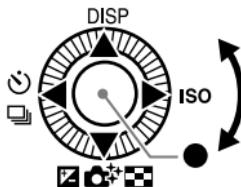
ご注意

- 本機には、画像に日付を挿入する機能はありません。PlayMemories Home を使用すると、日付を入れて保存/印刷できます(81ページ)。

操作方法を確認する

コントロールホイールの使いかた

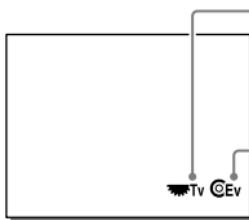
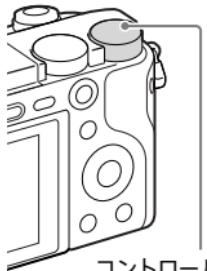
- コントロールホイールを回したり上下左右を押したりすると、選択枠を動かすことができます。選んだ項目は中央の●を押すと決定されます。本書ではコントロールホイールの上下左右を押す動作を▲/▼/◀/▶で表現しています。
- コントロールホイールの▲/▼/◀/▶には下記の機能が割り当てられています。



DISP	画面表示切換(DISP) (42ページ)
ISO	ISO感度 (65ページ)
☒	一覧表示 (78ページ)
📸	マイフォトスタイル (69ページ)
☒	露出補正 (64ページ)
⌚ / ⏱	ドライブモード • 連続撮影/プラケット (66ページ) • セルフタイマー (68ページ)
●	スタンダード (72ページ)

- 撮影時の▼/◀/▶/●ボタンにはお好みの機能を割り当てるることができます (72ページ)。
- 再生時に、コントロールホイールの◀/▶を押す、またはホイールを回すことでの前/次の画像を表示することができます (76ページ)。

コントロールダイヤルの使いかた



コントロールダイヤルを
回したときの機能
Tv : シャッタースピード

コントロールホイールを
回したときの機能

コントロールダイヤルを回して、撮影モードごとに必要な設定を即座に
変更できます。

Fn(ファンクション)ボタンで選ぶ

Fn(ファンクション)ボタンにはよく使う機能を12個まで登録しておくことができ、撮影時に各機能の設定を変更できます。

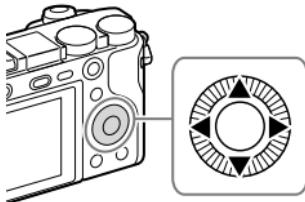
1 撮影画面でFn(ファンクション) ボタンを押す。



Fn(ファンクション)ボタン

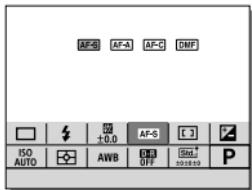
2 コントロールホイールの ▲/▼/◀/▶で設定する機能を選ぶ。

- 登録できる機能の一覧と登録方法は
71ページをご覧ください。



3 コントロールホイールを回して希 望の設定を選び、中央の●を押す。

一部の機能は、コントロールダイヤルを回して微調
整値の設定もできます。



専用画面で設定するには

手順2で、設定する機能を選んで
コントロールホイール中央の●を押すと、その
項目設定の専用画面になります。操作ガイドに
従って設定してください。



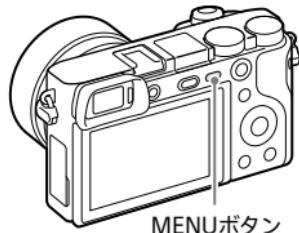
操作ガイド

MENUボタンで選ぶ

撮影、再生、操作方法などカメラ全体に関する設定の変更や、機能の実行を行えます。

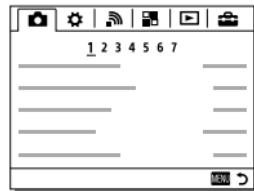
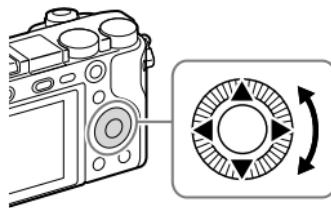
設定項目の一覧は89ページをご確認ください。

-
- 1 MENUボタンを押して、メニュー画面を表示する。**



MENUボタン

- 2 コントロールホイールを回したり
▲/▼/◀/▶を押したりして設定したい項目を選び、中央の●を押す。**
- 画面上部のアイコンを選んで◀/▶を押すと他のMENUへ移動できます。



-
- 3 設定値を選択して、中央の●を押して決定する。**
-

カメラ内ガイドを見る

MENU、Fn(ファンクション)の機能や設定に関する説明を表示します。

-
- 1 MENU、またはFn(ファンクション)ボタンを押す。



MENUボタン

- 2 コントロールホイールの▲/▼/◀/▶で説明を見たい項目を選ぶ。

- 3 C2(カスタム2)ボタンを押す。

手順2で選んだ項目の説明が表示される。

- グレーで表示されている項目を選んでコントロールホイール中央の●を押した場合は、その項目を使用できない理由が表示されます。

撮影アドバイスを見る

選んでいる撮影モードに応じたアドバイスを表示します。

-
- 1 撮影画面でC2(カスタム2)ボタンを押す。

- 2 コントロールホイールの▲/▼で見たい撮影アドバイスを選び、中央の●を押す。

撮影アドバイスが表示される。

- ▲/▼で画面をスクロールできます。

撮影アドバイスを全部見るには

- MENUボタン → (撮影設定) 7 → [撮影アドバイス一覧] すべての撮影アドバイスを表示することができます。

自動で最適な設定で撮る(オート撮影)

1 モードダイヤルを*i*(おまかせオート)にする。

2 モニターを見るか、ファインダーをのぞいて本機を構える。

3 被写体の大きさを決める。

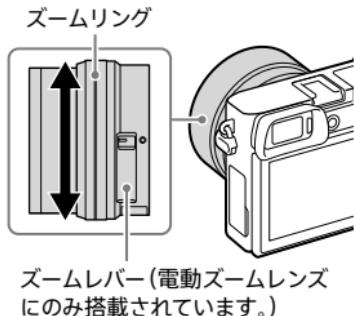
ズームレバー搭載レンズの場合：

ズームレバーを動かす。

ズームリング搭載レンズの場合：

ズームリングを動かす。

- 電動ズームレンズでは、光学ズームの倍率を超えると本体側のズームへ移行します(38ページ)。



4 シャッターボタンを半押しして、ピントを合わせる。

ピントが合うと「ピピッ」という音がして
●または(○)が点灯する。



5 シャッターボタンを深く押し込む。

- 撮影直後に、撮影した画像が表示されます。再生時のDISP設定で表示されます。シャッターボタンを半押しすると画像の表示を解除できます(42ページ)。

状況を自動判別して撮る(おまかせオート/ プレミアムおまかせオート)

i[■](おまかせオート)またはi[■]+ (プレミアムおまかせオート)で撮影すると、カメラが自動でシーンを認識して最適な設定で撮影します。動画撮影中もシーンを認識します。

1 被写体にカメラを向ける。

カメラがシーンを認識すると、シーン認識マークと連続撮影枚数が表示される。

[プレミアムおまかせオート]時は、認識したシーンに最適な撮影動作も表示される。

認識シーン: ♪(夜景)、♪(手持ち夜景)、

▲(風景)、▣(逆光&人物)、

○(人物)、❀(三脚夜景)、

▢(逆光)、♥(マクロ)、

¤(夜景 & 人物)、○(スポットライト)、

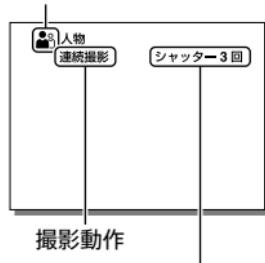
◐(低照度)、◑(赤ちゃん)

撮影動作: 連続撮影、スローシンクロ、オートHDR、

日中シンクロ、スローシャッター、

手持ち夜景

シーン認識マーク



連続撮影枚数

2 シャッターボタンを半押ししてピントを合わせてから、シャッター^{ボタン}を深く押し込んで撮影する。

オート撮影の特徴

プレミアムおまかせオートは、おまかせオートよりもさらに高画質で撮影し、必要に応じて重ね合わせ撮影を行います。

プログラムオートは、ホワイトバランスやISOなど多彩な機能の設定を変えて撮るときに使います。

撮影モード	こんなときに使う
 (おまかせオート)	<ul style="list-style-type: none"> • カメラまかせでシーン認識をして撮影したいとき
 (プレミアムおまかせオート)	<ul style="list-style-type: none"> • 暗いシーンや逆光などの失敗しやすいシーンをきれいに撮影したいとき •  (おまかせオート)よりも高画質な画像を撮影したいとき
 (プログラムオート)	<ul style="list-style-type: none"> • 露出(シャッタースピードと絞り)以外の多彩な撮影機能を自分で調整して撮影したいとき

撮影のテクニック

- [プログラムオート]時にコントロールダイヤルを回すと、カメラが設定した適正露出のままシャッタースピードと絞りの組み合わせを変更できます(P* プログラムシフト)。

ご注意

- [おまかせオート]では、暗いシーンや逆光のシーンなどを美しく撮影できないことがあります。
- [プレミアムおまかせオート]では、重ね合わせ処理をするため、記録処理に時間がかかります。シャッター音が複数回聞こえる場合がありますが、記録される画像は1枚です。
- [おまかせオート]、[プレミアムおまかせオート]の場合、多くの機能が自動設定となり、自分で変更できません(100ページ)。

ズームする

本体側のズーム機能を使って、レンズの光学ズームの倍率以上に拡大して撮影できます。

1 MENUボタン → (カスタム設定) 3 → [ズーム設定] → 希望の設定を選ぶ。

光学ズームのみ：[ 画像サイズ] が L のときは、光学ズームのみを使用する。

[ 画像サイズ] が L 以外のときは、光学ズーム倍率を超えて、トリミング処理により画質を劣化させずにズームする (s  スマートズーム)。

入：全画素超解像ズーム：光学ズーム倍率、スマートズーム倍率を超えて、ほとんど画質を劣化させずにズームする (c )。

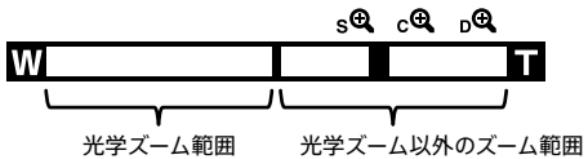
入：デジタルズーム：全画素超解像ズーム倍率を超えて、さらに高倍率でズームする (d )。ただし画質は劣化する。

2 ズームする (35ページ)。

- 電動ズームレンズ装着時は、光学ズーム倍率を超えると自動的に本体側のズームに移行します。
- 手動ズームレンズ装着時は、ズームリングで光学ズームを最大まで使用した後に、以下の手順で本体側のズームを使います。

MENUボタン →  (撮影設定) 5 → [ズーム] → 希望の数値を選ぶ。

ズームバーの表示について



ご注意

- [ 画像サイズ] が [RAW]、[RAW+JPEG] のときは光学ズームのみ使用できます。
- ご使用の電動ズームレンズによって、ズームスピードは異なります。撮影前に動作を確認することをおすすめします。

ズーム倍率

画像サイズによって、レンズの光学ズームに組み合わされるズーム倍率は変わります。

[横縦比]が[3:2]のとき

ズーム設定 画像サイズ	光学ズームのみ (スマートズーム)	入：全画素超解像 ズーム	入：デジタルズーム
L:24M	—	2倍	4倍
M:12M	1.4倍	2.8倍	5.7倍
S:6.0M	2倍	4倍	8倍

フラッシュを発光する

1  (フラッシュポップアップ) ボタンを押してフラッシュ発光部を上げる。

- フラッシュを使用しない場合は、手でフラッシュ発光部を下げてください。



 (フラッシュポップアップ) ボタン

2 MENUボタン →  (撮影設定) 2 → [フラッシュモード] → 希望の設定を選ぶ。

 (発光禁止) : 発光しない。

 (自動発光) : 暗い場所、または逆光のとき、自動で発光する。

 (強制発光) : 必ず発光する。

 (スローシンクロ) : 必ず発光する。暗い場所ではシャッタースピードを遅くし、フラッシュが届かない背景も明るく撮影する。

 (後幕シンクロ) : 露光が終わる直前のタイミングで必ず発光する。走っている自動車など動いている被写体を撮ると、動きの軌跡が自然な感じに撮れる。

 (ワイヤレス) : 別売のワイヤレスフラッシュを使って、被写体に陰影を付けて立体感を出して撮れる。本機にコントローラー対応外部フラッシュ(別売)を取り付け、別のワイヤレスフラッシュ(別売)を本機から離したところに設定して撮影する。

- 発光させるためには、設定後もフラッシュ発光部がポップアップした状態で撮影してください。フラッシュ発光部が下がっていると発光しません。

ご注意

- ズームをW側にしてフラッシュ撮影すると、撮影状況によってはレンズの影が写ることがあります。この場合は被写体から離れて撮影するか、ズームをT側にしてフラッシュ撮影してください。

フラッシュ光の届く距離(約)

フラッシュは、ISO感度と絞り値によってフラッシュ光が届く距離が変わります。

	F2.8	F3.5	F5.6
ISO 100	1 m~2.1 m	1 m~1.7 m	1 m~1.1 m
ISO 3200	4 m~12 m	3.2 m~9.7 m	2 m~6 m

使用可能なフラッシュモード

設定している撮影モードや機能によって、選べるフラッシュモードが異なります。

下の表で○は選択可能、×は選択不可能を表しています。

選択できないフラッシュモードはグレーで表示されます。

撮影モード/その他設定						
i (おまかせオート)	○	○	○	×	×	×
i+ (プレミアムおまかせオート)	○	○	○	×	×	×
P (プログラムオート)	×	×	○	○	○	○
A (絞り優先)	×	×	○	○	○	○
S (シャッタースピード優先)	×	×	○	○	○	○
M (マニュアル露出)	×	×	○	○	○	○
(動画) *	○	×	×	×	×	×
(スイングパノラマ) *	○	×	×	×	×	×
シーンセレクション	 	○	○	○	×	×
	 	○	×	○	×	×
	 	○	×	×	×	×
		×	×	×	○	×

* これらの撮影モードではフラッシュ撮影はできません。

ご注意

- モードダイヤルがMR(登録呼び出し)のときは、登録した設定によって選べるフラッシュモードが変わります。

モニター表示を変える(DISP)

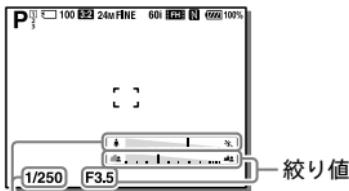
1 コントロールホイールのDISPを繰り返し押して、希望のモードを選ぶ。

- 撮影時に選択できるモードは MENUボタン → ⚙(カスタム設定) 1 → [DISPボタン] で設定できます。



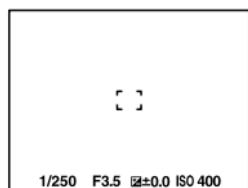
撮影時

グラフィック表示: 基本的な撮影情報を表示する。シャッタースピードと絞りをグラフィカルに表示する。

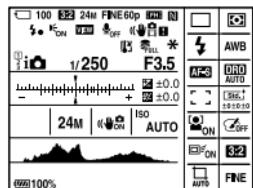


シャッタースピード

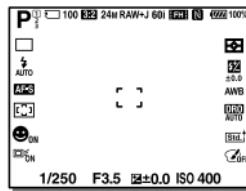
情報表示なし: 撮影情報を表示しない。



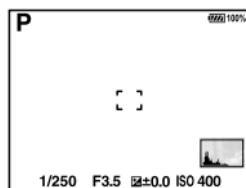
ファインダー撮影用: ファインダーをのぞいて撮影するスタイルに適した表示になる。



全情報表示: 撮影情報を表示する。



ヒストグラム: 画像の明暗をグラフ(ヒストグラム)で表示する。



再生時

情報表示あり：撮影時の情報を表示する。

ヒストグラム：撮影時の情報とヒストグラムを表示する。

情報表示なし：撮影時の情報を表示しない。

- 再生時の設定は、オートレビューでも反映されます。

ご注意

- 画面上の補助線(グリッドライン)はDISPを押しても消せません。MENUボタン →  (カスタム設定) 1 → [グリッドライン]で設定を変えてください。

ファインダー撮影用画面(クイックナビ)について

Fnボタンを押すと、変更したい項目をダイレクトに操作できます。

コントロールホイールの▲/▼/◀/▶を押して設定する機能を選び、

コントロールホイールを回して希望の設定にしてください。

- 一部の機能はコントロールダイヤルを回して微調整値の設定もできます。

画像のサイズを選ぶ

画像サイズは画像を記録するときの大きさのことです。

画像サイズが大きいほど、大きな用紙にも詳細にプリントできますが、ファイルサイズが大きくなります。画像サイズを小さくすると、ファイルサイズも小さくなりたくさん撮影できます。

**1 MENUボタン →  (撮影設定) 1 → [ 画像サイズ] または
[パノラマ: 画像サイズ] → 希望の設定を選ぶ。**

- ・横縦の比率は、MENUボタン →  (撮影設定) 1 → [ 横縦比] で選びます。

画像サイズ ([ 横縦比] が [3:2] のとき)		用途例
L:24M	6000 × 4000画素	A3ノビサイズまでの印刷
M:12M	4240 × 2832画素	A3サイズまでの印刷
S:6.0M	3008 × 2000画素	L/2L/A4サイズまでの印刷

画像サイズ ([ 横縦比] が [16:9] のとき)		用途例
L:20M	6000 × 3376画素	ハイビジョンテレビでの再生
M:10M	4240 × 2400画素	
S:5.1M	3008 × 1688画素	

パノラマ: 画像サイズ	説明
標準	上下: 3872×2160 左右: 8192×1856
ワイド	上下: 5536×2160 左右: 12416×1856

ご注意

- ・ [ 画質] が [RAW]、[RAW+JPEG] のとき、RAW画像の画像サイズは L相当となります。
- ・ [16:9] や [スイングパノラマ] で撮影した静止画画像は、プリント時に両端が切れることができます。

画質を選ぶ(RAW/JPEG)

1 MENUボタン → (撮影設定) 1 → [画質] → 希望の設定を選ぶ。

[RAW] : デジタル処理などの加工をしていないファイル形式。専門的な用途に合わせて、パソコンで加工するときに選ぶ。

- パソコンでの加工にはImage Data Converterを使用してください(84ページ)。

[RAW+JPEG] : RAW画像とJPEG画像が同時に記録される。閲覧用にはJPEG画像、編集用にはRAW画像というように、両方の画像を記録したい場合に適している。

[ファイン] / [スタンダード] : 画像がJPEG形式で圧縮されて記録される。[ファイン]、[スタンダード]の順で圧縮率が大きくなり、1枚のメモリーカードに記録できる枚数は増えるが、画質は劣化する。

ご注意

- [RAW] または [RAW+JPEG] のとき、以下の機能は使用できません。
 - 光学ズーム以外のズーム
 - [オートHDR]
 - [ピクチャーエフェクト]
 - [ オートフレーミング]
- [RAW] または [RAW+JPEG] の場合はデータ量が多いため、1枚のメモリーカードに記録できる枚数がJPEG形式より少なくなります。

静止画の撮影モードを変える (モードダイヤル)

撮りたい被写体や、操作したい機能に合わせて、モードダイヤルで撮影モードを設定します。

1 モードダイヤルを回して希望のモードを選ぶ。



カメラまかせで自動撮影する

露出(シャッタースピードと絞り)など、多くの機能が自動で設定されます。

iA (おまかせオート) (36)	シーンを認識し、自動設定で撮影する。
iA⁺ (プレミアムおまかせオート) (36)	おまかせオート撮影より高画質な画像を撮影できる。カメラまかせでシーンとコンディションを認識し、必要に応じて自動で連写して重ね合わせ処理を行う。 <ul style="list-style-type: none">重ね合わせ処理には、若干の時間がかかります。記録される画像は1枚です。
SCN (シーンセレクション) (50)	撮影条件に合わせて、あらかじめ用意された設定で撮影する。

好みの設定で撮影する

MENUで多彩な機能を設定できます。

P (プログラムオート) (37)	露出(シャッタースピードと絞り)は自動設定される。MENUで多彩な機能を設定できる。
A (絞り優先) (51)	背景をぼかしたいときなど、絞り値を設定して撮影する。
S (シャッタースピード優先) (52)	動きの速いものを撮るときなど、シャッタースピードを設定して撮影する。
M (マニュアル露出) (53)	シャッタースピードと絞りを手動で設定して、好みの露出で撮影できる。
MR (登録呼び出し) (70)	あらかじめ設定しておいた、よく使うモードやカメラの設定を呼び出して撮影できる。

他の撮影モードで撮影する

■ (動画) (73)	動画撮影に関するモードや設定の変更ができる。
□ (スイングパノラマ) (48)	画像を合成してパノラマ画像を撮影できる。

パノラマ画像を撮る

カメラを動かす間に複数の画像を撮影し、合成して1枚のパノラマ画像を作成します。

1 モードダイヤルを□(スイングパノラマ)にする。

2 コントロールダイヤルを回して撮影方向を選ぶ。

3 明るさ、ピントを合わせたい被写体にカメラを向け、シャッターボタンを半押しする。

4 シャッターボタンを半押しした状態で構図の端にカメラを向け、シャッターボタンを深く押し込む。



5 モニター上の矢印方向に、ガイド上の撮影進行表示が終端に来るまで、カメラを動かす。



パノラマ撮影のポイント

脇をしめてできるだけカメラを体に寄せ、体を軸に、一定の速度で小さな円を描くように、モニターの矢印と同じ方向に動かしてください(半周5秒~6秒が目安です)。

撮影の前にあらかじめ何度も練習しておくことをおすすめします。

- 被写体と背景との距離を充分にたもったり、屋外などの明るい場所で撮ることもポイントです。



場面に合った撮影モードを使う (シーンセレクション)

1 モードダイヤルをSCN(シーンセレクション)にする。

2 コントロールホイールを回して希望のシーンを選ぶ。

◐(ポートレート) : 背景をぼかして、人物を際立たせる。肌をやわらかに再現する。

※(スポーツ) : 高速なシャッタースピードで動く物が止まったように撮れる。
シャッターボタンを押し続けると連続撮影する。

◆(マクロ) : 花などに近づいて撮影する。

▲(風景) : 風景を手前から奥までくっきりと鮮やかな色で撮る。

●(夕景) : 夕焼けや朝焼けなどの赤を美しく撮る。

☽(夜景) : 暗い雰囲気を損なわずに、夜景を撮る。

♪(手持ち夜景) : 三脚を使わずにノイズが少ない夜景を撮る。連写を行い、
画像を合成して被写体ブレや手ブレ、ノイズを軽減して記録する。

♪(夜景ポートレート) : 夜景を背景に手前の人物を撮る。フラッシュ発光部
を上げて使う。

((●))(人物ブレ軽減) : 室内で人物撮影する場合、フラッシュを使わずにブレを
軽減する。連写を行い、画像を合成して被写体ブレやノイズを軽減して記
録する。

絞りとシャッタースピードを好みの設定にする

背景のぼかし具合を調節して撮る(絞り優先)

ピントの合う範囲や、背景のぼかし具合を変えて撮影できます。

1 モードダイヤルをA(絞り優先)にする。

2 コントロールダイヤルを回して、絞り値(F値)の設定値を選ぶ。

3 シャッターボタンを押す。

絞りについて

F値を小さくする(絞りを開ける)と、ピントの合う範囲は前後に狭くなり、背景をぼかして、被写体をくっきりと表現できます。



F値を大きくする(絞りを閉じる)と、ピントの合う範囲は前後に広がり、風景の広がりを表現できます。



ご注意

- 設定後に適正露出が得られない場合、モニターの設定値表示が点滅します。そのまま撮影できますが、設定し直すことをおすすめします。

動くものの表現を変えて撮る(シャッタースピード優先)

シャッタースピードを手動で調節できます。

- 1 モードダイヤルを S(シャッタースピード優先)にする。
- 2 コントロールダイヤルを回して、シャッタースピードの設定値を選ぶ。
- 3 シャッターボタンを押す。

シャッタースピードについて

シャッタースピードを速くすると、走っている人や車、波しぶきなどの動きのあるものが止まって見えます。



シャッタースピードを遅くすると、川の流れなどの軌跡が残り、より自然な流動感のある画像になります。



ご注意

- 設定後に適正露出が得られない場合、モニターの設定値表示が点滅します。そのまま撮影できますが、設定し直すことをおすすめします。

思い通りの露出で撮る(マニュアル露出)

シャッタースピードと絞り(F値)を調節して、好みの露出で撮影します。

- 1 モードダイヤルをM(マニュアル露出)にする。
- 2 シャッタースピードを調整するときはコントロールホイールを回し、絞り値を選ぶときはコントロールダイヤルを回す。
 - [ISO感度]が[ISO AUTO]以外の場合、設定した露出と本機が判断した適正露出の差がモニター上の■(メータードマニュアル)で確認できます。
- 3 シャッターボタンを押す。

ご注意

- 設定後にメータードマニュアルの測光範囲を超えている場合は、メータードマニュアルの値が点滅します。
- [ISO感度]を[ISO AUTO]に設定したときには、設定した絞り値とシャッタースピードで適正露出になるようにISO感度が変化します。メータードマニュアルは表示されません。適正露出にならないと本機が判断した場合は、ISO感度が点滅します。

BULB(バルブ)撮影で動きの軌跡を撮る

シャッタースピードの設定で、[BULB]と表示されるまで

コントロールホイールを左に回してください。シャッターボタンを押し続けている間撮影します。

- 花火の光が尾を引くような写真や、星の軌跡の撮影に適しています。
- 画像がブレやすくなるため、三脚や、シャッターボタンのロック機能を持つ、マルチ端子対応リモートコマンダー(別売)のご使用をおすすめします。

ピントを合わせる

ピント合わせの方法を選ぶ

1 MENUボタン →  [撮影設定] 2 → [フォーカスモード] →
希望の設定を選ぶ。

AF-S(シングルAF)：ピントが合った時点でピントを固定する。止まっている
ものの撮影に適している。

AF-A(AF制御自動切り換え)：被写体の動きに応じて、シングルAFとコン
ティニュアスAFが切り変わる。

シャッターボタンを半押しすると被写体が静止していると判断したとき
はピント位置を固定し、被写体が動いているときはピントを合わせ続ける。

AF-C(コンティニュアスAF)：シャッターボタン半押しの間、ピントを合わせ
続ける。動いているものの撮影に適している。合焦音は鳴りません。

DMF(ダイレクトマニュアルフォーカス)：手動によるピント合わせとオート
フォーカスを組み合わせることができる。

MF(マニュアルフォーカス)：手動でピントを合わせる。

手動でピントを合わせるときは、DMFまたはMFを選び、レンズのフォーカ
スリングを回します。オートフォーカスで意図した被写体にピントが合わ
ないときには、MFで操作してください(58ページ)。

ご注意

- [コンティニュアスAF]のときは、シャッターボタン半押しの間はピントを合わ
せ続けるため画像が揺らぐことがあります、故障ではありません。

ピントを合わせるエリアを選ぶ(フォーカスエリア)

ピント合わせの位置を変更します。ピントが合いにくいときなどに使用してください。

1 MENUボタン →  (撮影設定) 3 → [フォーカスエリア] → 希望の設定を選ぶ。

 (ワイド) : モニター全体を基準に、自動でピントを合わせる。

 (ゾーン) : モニター上でピントを合わせたいゾーンの位置を選ぶと、その中で自動でピントを合わせる。

 (中央) : モニター中央付近の被写体に自動でピントを合わせる。

 (フレキシブルスポット) : コントロールホイールで、ピントを合わせたい位置に測距枠を移動し、非常に小さな被写体や狭いエリアを狙ってピントを合わせる。

撮影のテクニック

- ・[ワイド]で被写体にピントが合わない場合は、[中央]にしてピントを合わせたい被写体に測距枠を合わせ、シャッターボタンを半押ししてピントを固定してください。その後シャッターボタンを半押ししたまま撮りたい構図に戻して撮影してください。(フォーカスロック)

ご注意

- ・暗いシーンや全画素超解像ズーム・デジタルズーム・スマートズーム領域では、画面全体を使ってピントを合わせることがあり、その際には点線の四角い枠が全体に表示されます。

像面位相差AFについて

使用するオートフォーカスエリア内に像面位相差AF測距点があると、像面位相差AFとコントラストAFをかけ合わせたオートフォーカスになります。

ご注意

- ・絞り値がF13以上のときは、像面位相差AFを使用できません。コントラストAFのみになります。
- ・像面位相差AFは、対応レンズでのみ使用できます。像面位相差AFに対応していないレンズを使用すると[AF制御自動切り換え]、[AF追従感度]、[AF駆動速度]が使用できません。
また、過去にご購入されたレンズなどでは、対応レンズであっても、レンズをアップデートしないと像面位相差AFが動作しない場合があります。対応レンズは、専用サポートサイトでご確認ください。
<http://www.sony.co.jp/DSLR/support/>
- ・マウントアダプター(別売)を使用して、Aマウントレンズ(別売)を装着した場合、本機の像面位相差AFを使用できません。

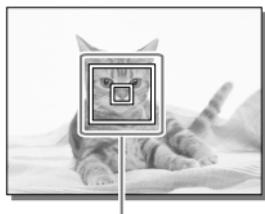
被写体にピントを合わせ続けて撮る(ロックオンAF)

被写体が動いても、自動でピントを合わせ続けます。

1 MENUボタン →  (撮影設定) 2 → [フォーカスマード] →  (コンティニュアスAF) を選ぶ。

2 MENUボタン →  (撮影設定) 5 → [ロックオンAF] → [入] を選ぶ。

3 追尾する被写体にターゲット枠を
合わせて、中央の●を押す。



ターゲット枠

瞳にピントを合わせる(瞳AF)

ボタンを押している間、人物の目に合わせて合焦します。

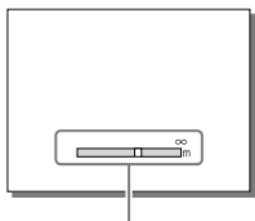
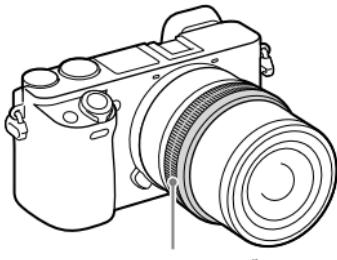
- 1 MENUボタン →  (カスタム設定) 6 → [カスタムキー設定] で、
コントロールホイール中央ボタンに [瞳AF] を登録する。
- 2 コントロールホイール中央の●を押したまま、シャッターボタン
を押す。

ご注意

- 状況によっては、目に合焦できない場合があります。目に合焦できないときは、顔を検出して顔に合焦します。
- 人物の顔を検出できない場合、[瞳AF] は使用できません。
- フォーカスマードがAF-C(コンティニュアスAF)またはMF(マニュアルフォーカス)のときなど、状況によっては使用できない場合があります。

ピントを手動で好みの位置に合わせる (マニュアルフォーカス)

-
- 1 MENUボタン →  (撮影設定) 2 → [フォーカスマード] → MFを選ぶ。
 - 2 レンズのフォーカスリングを回してピントを調整する。



ご注意

- フォーカスマードを変えると、手動で設定したフォーカスの距離は解除されます。

DMFを使ってピントを合わせる

DMFでは以下のように、手動によるピント調整とオートフォーカスを組み合わせることができます。

- オートフォーカスでピントを合わせたあと、手動でピントを微調整すると、厳密なピント合わせをしたい被写体などに有効です。シャッターボタンを半押ししたまま、フォーカスリングを回します。

撮影のテクニック

- [MFアシスト]を使うと、マニュアルフォーカスやDMFのピントの調整時に、画像を自動で拡大表示してピントを合わせやすくします(92ページ)。拡大表示中にコントロールホイール中央の●を押すと拡大倍率を変更できます。
- [ピーキングレベル]を使うと、マニュアルフォーカス撮影のときに、ピントが合った部分の輪郭を指定した色で強調します。ピントを確認しやすくなります(92ページ)。

好みの画像の仕上がりで撮る (クリエイティブスタイル)

1 モードダイヤルをP(プログラムオート)、A(絞り優先)、S(シャッタースピード優先)、M(マニュアル露出)または[■](動画)にする。

2 MENUボタン →  (撮影設定) 4 → [クリエイティブスタイル] → 希望のクリエイティブスタイルまたは[■](スタイルボックス)を選ぶ。

- スタイルボックスを使えば、同じスタイルでも微妙に設定を変えて呼び出すことができます。

^{Std.}(スタンダード) : さまざまなシーンを豊かな階調と美しい色彩で表現する。

^{Vivid}(ビビッド) : 彩度とコントラストが高めになる。

^{Ntr.}(ニュートラル) : 彩度・シャープネスが低くなる。

^{Clear}(クリア) : ハイライト部分の抜けがよく、透明感のある雰囲気になる。

^{Deep}(ディープ) : 濃く深みのある色再現にする。

^{Light}(ライト) : 明るく、すっきりとした色再現にする。

^{Port.}(ポートレート) : 肌をより柔らかに再現する。

^{Land.}(風景) : 彩度、コントラスト、シャープネスがより高くなり、鮮やかでメリハリのある風景に再現する。

^{Sunset}(夕景) : 夕焼けの赤さを美しく表現する。

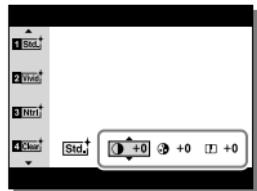
^{Night}(夜景) : コントラストがやや低くなり、見た目の印象により近い夜景に再現する。

^{Autm}(紅葉) : 紅葉の赤、黄をより鮮やかに表現する。

^{B/W}(白黒) : 白黒のモノトーンで表現する。

^{Sepia}(セピア) : セピア色のモノトーンで表現する。

③ ①(コントラスト)、②(彩度)、
④(シャープネス)を調整したいと
きは、コントロールホイールの
◀/▶で希望の項目を選び、▲/▼
で値を選ぶ。



- スタイルボックスのときは希望のクリエイティブスタイルも選べます。

好みの効果を使って印象的に撮る (ピクチャーエフェクト)

1 モードダイヤルをP(プログラムオート)、A(絞り優先)、S(シャッタースピード優先)、M(マニュアル露出)、または~~動画~~(動画)にする。

2 MENUボタン →  (撮影設定) 4 → [ピクチャーエフェクト] → 希望のモードを選ぶ。

- さらに詳細な設定ができるモードを選んだ場合は、◀/▶で希望の設定を選びます。

 OFF(切) : 効果を使用しない。

 (トイカメラ) : 周辺が暗く、シャープ感を抑えた柔らかな仕上がりになる。
◀/▶で色合いを設定できる。

 (ポップカラー) : 色合いを強調してポップで生き生きとした仕上がりになる。

  (ポスタリゼーション) : 原色のみ、または白黒のみで再現されるメリハリのきいた抽象的な仕上がりになる。◀/▶で
[ポスタリゼーション:白黒]か[ポスタリゼーション:カラー]かを選択できる。

 (レトロフォト) : 古びた写真のようにセピア色でコントラストが落ちた仕上がりになる。

 (ソフトハイキー) : 明るく、透明感や軽さ、優しさ、柔らかさを持った仕上がりになる。

    (パートカラー) : 1色のみをカラーで残し、他の色はモノクロに仕上がる。◀/▶で残す色を設定できる。

 (ハイコントラストモノクロ) : 明暗を強調することで緊張感のあるモノクロに仕上がる。

 (ソフトフォーカス) : 柔らかな光につつまれたような雰囲気の仕上がりになる。◀/▶で効果の強弱を設定できる。

 **(絵画調HDR)** : 絵画のように色彩やディテールが強調された仕上がりになる。3回シャッターが切れる。◀/▶で効果の強弱を設定できる。

 **(リッチトーンモノクロ)** : 階調が豊かでディテールも再現されたモノクロに仕上がる。3回シャッターが切れる。

 **(ミニチュア)** : ミニチュア模型を撮影したようにボケが大きく、鮮やかな仕上がりになる。◀/▶でボケる位置を設定できる。

 **(水彩画調)** : にじみやぼかしを加えて水彩画のような効果をつける。

 **(イラスト調)** : 輪郭を強調するなどしてイラストのような効果をつける。◀/▶で効果の強弱を設定できる。

撮影のテクニック

- ・ [トイカメラ]、[ポップカラー]、[ポスタリゼーション]、[レトロフォト]、[ソフトハイキー]、[パートカラー]、[ハイコントラストモノクロ]は動画撮影でも使えます。

ご注意

- ・ ピクチャーエフェクトを設定すると[DRO/オートHDR]や
[クリエイティブスタイル]など、使用できなくなる機能があります。
- ・ ピクチャーエフェクトのモードによって使用できなくなる機能があります。
- ・ [画質]が[RAW]または[RAW+JPEG]のとき、[ピクチャーエフェクト]を
設定できません。

明るさを調整する(露出補正)

通常の撮影設定では、露出が自動的に設定されます(自動露出)。自動露出で設定された露出値を基準に、+側に補正すると、画像全体を明るく、-側に補正すると、画像全体を暗くできます(露出補正)。

1 コントロールホイールの

■(露出補正) → ▲/▼を押す、またはホイールを回して希望の補正值を選ぶ。



- [おまかせオート]、
[プレミアムおまかせオート]のときは、
マイフォトスタイルになります。
- コントロールホイールに他の機能が割り当てられている場合は、MENU
ボタン → ■(撮影設定) 3 → [露出補正]から選べます。
+ (オーバー)側：画像が明るくなる。
- (アンダー)側：画像が暗くなる。

ご注意

- 撮影モードが以下の場合は、露出補正できません。
 - [おまかせオート]
 - [プレミアムおまかせオート]
 - [シーンセレクション]
 - [マニュアル露出]で[ISO感度]が[ISO AUTO]以外

ISO感度を選ぶ

1 モードダイヤルをP(プログラムオート)、A(絞り優先)、S(シャッタースピード優先)、M(マニュアル露出)、または^{ムカ}(動画)にする。

2 コントロールホイールの
ISO (ISO感度) → 希望の設定を
選ぶ。

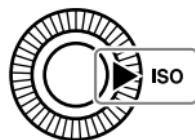
- コントロールホイールに他の機能が割り当てられている場合は、MENUボタン → (撮影設定) 4 → [ISO感度] から選べます。

ISO (マルチショットNR) : 連続撮影により写真を重ね合わせ、ノイズの少ない画像を撮影する。

▶で設定画面を表示して、▲/▼でISO AUTO、ISO 100～ISO 51200の中から希望の数値を選ぶ。

ISO AUTO (ISO AUTO) : カメラが明るさに応じた感度を自動で設定する。▶で設定画面を表示して、ISO AUTO時の上限値、下限値を設定することもできる。

ISO 100～ISO 25600 : 数値が大きいほど高感度になる。



ご注意

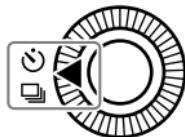
- 動画撮影時はISO 100～ISO 12800の範囲で選べます。
- [マルチショットNR]に設定しているときは、重ね合わせ処理をするため、記録処理に時間がかかります。また、フラッシュは発光しません。

連続して撮る(連写)

1枚撮影、連続撮影、プラケット撮影など、撮影の目的に合わせて使用してください。

1 コントロールホイールの

○/□(ドライブモード) → 希望
のモードを選ぶ。



- コントロールホイールに他の機能が割り当てられている場合は、MENUボタン → (撮影設定) 2 → [ドライブモード] から選べます。
- さらに詳細な設定ができるモードを選んだ場合は、◀/▶で希望の設定を選びます。

□(1枚撮影) : 通常の撮影方法。

□(連続撮影) : シャッターボタンを押している間、連続して撮影する。[Hi]、
[Mid] または [Lo] から速度を選ぶ。

BRK C (連続プラケット) : 露出を段階的にずらして、合計3枚または5枚の画像を連続して記録する。露出の段数は設定できる。

BRK S (1枚プラケット) : 露出を段階的にずらして、指定した枚数の画像を1枚ずつ撮影する。

BRK WB (ホワイトバランスプラケット) : 選択されているホワイトバランス、色温度・カラーフィルターの値を基準に、段階的にずらして、合計3枚の画像を記録する。[Lo] または [Hi] からずらす値の幅を選ぶ。

BRK DRO (DROプラケット) : Dレンジオプティマイザーの値を段階的にずらして、合計3枚の画像を記録する。

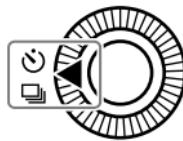
ご注意

- フラッシュ発光時は[連続ブラケット]を選んでいても、調光量をずらして撮影するフラッシュブラケットになります。1枚ずつシャッターボタンを押して撮影してください。
- 以下のときは、連続撮影、ブラケット撮影ができません。
 - 撮影モードが[スイングパノラマ]
 - [シーンセレクション]の[スポーツ]以外*
 - [ピクチャーエフェクト]が[ソフトフォーカス]、[絵画調HDR]、[リッチトーンモノクロ]、[ミニチュア]、[水彩画調]、[イラスト調]
 - [DRO/オートHDR]が[オートHDR]
 - [ISO感度]が[マルチショットNR]
 - [スマイルシャッター]
- * [シーンセレクション]が[スポーツ]の場合もブラケット撮影はできません。

セルフタイマーで撮る

1 コントロールホイールの

心/□(ドライブモード) → 希望
のモードを選ぶ。



- コントロールホイールに他の機能が割り当てられている場合は、MENUボタン →  (撮影設定) 2 → [ドライブモード] から選べます。
- さらに詳細な設定ができるモードを選んだ場合は、◀/▶で希望の設定を選びます。

 (セルフタイマー) : 10秒セルフタイマーは撮影者も一緒に写真に入るときに、2秒セルフタイマーは撮影の際のカメラブレを和らげるのに使う。シャッターボタンを押すと、セルフタイマーランプが点滅して「ピッピッピッ」と電子音が鳴り、撮影が開始される。中断するにはもう一度シャッターボタンを押す。

c (セルフタイマー(連続)) : シャッターボタンを押して10秒後に連写撮影する。3枚または5枚から撮影枚数を選ぶ。

 (1枚撮影) : セルフタイマー設定を解除する。

ご注意

- 以下のときは、セルフタイマーを使えません。
 - 撮影モードが[スイングパノラマ]
 - [シーンセレクション]の[手持ち夜景]、[スポーツ]、[人物ブレ軽減]
 - [ピクチャーエフェクト]が[ソフトフォーカス]、[絵画調HDR]、[リッチトーンモノクロ]、[ミニチュア]、[水彩画調]、[イラスト調]
 - [DRO/オートHDR]が[オートHDR]
 - [ISO感度]が[マルチショットNR]
 - [スマイルシャッター]

かんたんな操作で好みの設定にして撮る(マイフォトスタイル)

マイフォトスタイルは、直感的にカメラを操作できるモードです。かんたんな操作で設定を変更して撮影できます。

1 モードダイヤルを*i* (おまかせオート) または *i* + (プレミアムおまかせオート) にする。

**2 コントロールホイールの
▲ (マイフォトスタイル)
→ 変更する項目を選ぶ。**

▲ (背景ぼかし) : 背景のぼかし具合を調整する。

■ (明るさ) : 明るさを調整する。

■ (色あい) : 色合いを調整する。

■ (鮮やかさ) : 鮮やかさを調整する。

☑ (ピクチャーエフェクト) : 好みの効果を選んで、独自の風合いで撮影する。



3 コントロールホイールの▲/▼を押す、またはホイールを回して希望の設定にする。

- この手順を繰り返して色々な設定を組み合わせることができます。
- マイフォトスタイルを終了するには、MENUボタンを押します。

ご注意

- マイフォトスタイルで動画を撮影する場合、撮影中に設定できるのは背景ぼかしのみです。
- マイフォトスタイルを終了したり、電源を切ると、各設定は初期設定に戻ります。
- プレミアムおまかせオート時に、マイフォトスタイルを設定すると、重ね合わせ処理はされません。

撮影機能を自分好みにカスタマイズする

登録した設定を呼び出して撮影する

よく使うモードやカメラの設定を本機に登録でき、モードダイヤルで呼び出せます。

設定を登録する

- ① 本機を登録したい設定にしておく。
 - 以下の項目を登録できます。
モードダイヤルで設定する撮影モード/シャッタースピード/
 (撮影設定)項目
 - プログラムシフト、マニュアルフォーカスの設定は登録できません。
- ② MENUボタン →  (撮影設定) 7 → [登録] →
コントロールホイールの◀/▶で希望の番号を選ぶ → 中央の●で決定。

登録した設定を呼び出す

- ① モードダイヤルをMR(登録呼び出し)にする。
- ② コントロールホイールの◀/▶で、呼び出したい番号を選び、中央の●を押す。
 - 登録した内容を変更するには、希望する設定にして同じ番号に再登録してください。
 - MENUボタン →  (撮影設定) 7 → [登録呼び出し]で呼び出すこともできます。

Fn(ファンクション)ボタンの設定機能を変える

1 MENUボタン → ⚭(カスタム設定) 6 →
[ファンクションメニュー設定] → [ファンクション上段1] ~
[ファンクション下段6] → 希望のモードを選ぶ。

割り当てられる機能

ドライブモード/フラッシュモード/調光補正/フォーカスマード/
フォーカスエリア/露出補正/ISO感度/測光モード/ホワイトバランス/
DRO/オートHDR/クリエイティブスタイル/撮影モード/ピクチャーエフェクト/
ロックオンAF/顔検出/スマイルシャッター/美肌効果/
オートフレーミング/画像サイズ/横縦比/画質/手ブレ補正/
ゼブラ/グリッドライン/ピーキングレベル/ピーキング色/未設定

カスタムキーの設定機能を変える

AELボタン/カスタムボタン1/カスタムボタン2/中央ボタン/左ボタン/右ボタン/下ボタンには、他の機能を割り当てることもできます。

-
- 1 MENUボタン →  (カスタム設定) 6 → [カスタムキー設定]
→ 希望のキー → 希望の設定を選ぶ。

割り当てられる機能

スタンダード*/露出補正/ライブモード/フラッシュモード/フォーカスマード/
フォーカスエリア/顔検出/スマイルシャッター/オートフレーミング/
美肌効果/ISO感度/測光モード/調光補正/ホワイトバランス/
DRO/オートHDR/クリエイティブスタイル/ピクチャーエフェクト/
画像サイズ/横縦比/画質/押す間AEL**/再押しAEL/
押す間スポットAEL**/再押しスポットAEL/ロックオンAF/
押す間AF/MFコントロール**/再押しAF/MFコントロール/AFオン**/
絞りプレビュー**/撮影結果プレビュー**/ズーム/ピント拡大/登録/
モニターミュート/スマートフォン転送/ダウンロードアプリ/登録アブリ一覧/
カメラ内ガイド/瞳AF**/手ブレ補正/ゼブラ/グリッドライン/
ピーリングレベル/ピーリング色/モニター明るさ/未設定

* 中央ボタンにのみ設定できます

** 左ボタン/右ボタン/下ボタンには設定できません。

動画を撮る

1 MOVIE(動画)ボタンを押して、撮影を開始する。

- シャッタースピードや絞りを希望の値に設定したいときは、モードダイヤルを  (動画)にしてください(75ページ)。



2 もう一度MOVIEボタンを押して、終了する。

ご注意

- 動画記録中にズームなどの操作をすると、カメラの動作音や操作音が記録されます。また、動画撮影終了時、MOVIEボタンの操作音が記録されることがあります。
- 連続撮影可能時間は、「静止画の記録可能枚数と動画の記録可能時間」(105ページ)をご覧ください。撮影が終わってしまったら、もう一度MOVIEボタンを押すと撮影を再開できます。撮影環境温度によっては、機器保護のため停止する場合があります(5ページ)。
- 電動ズームレンズをお使いの場合、動画記録中のズームリングでの作動音が気になるときはズームレバーでの操作をおおすすめします。ズームレバーを動かすときは、レバーに軽く指をかけて、レバーをはじかないように操作してください。
- MENUボタン →  (撮影設定) 7 → [音声記録] → [切] にすると、音声が記録されないようにできます(92ページ)。

MOVIEボタンについて

モードダイヤルがどこに設定されていても、MOVIEボタンを押せば動画撮影が可能です。

動画の記録方式/画質を選ぶ

1 MENUボタン → (撮影設定) 1 → [■記録方式] → 希望の設定を選ぶ。

AVCHD : 滑らかな映像をハイビジョンテレビで見るのに適した記録方式になる。PlayMemories Homeを使って動画ディスクを作成できる。

MP4 : WEBアップロードやメールに適した記録方式になる。

PlayMemories Homeを使っても動画ディスクを作成できない。

2 MENUボタン → (撮影設定) 2 → [■記録設定] → 希望の設定を選ぶ。

- 各記録設定時の最大記録時間の目安は106ページをご覧ください。

[■記録方式] が [AVCHD] のとき

■記録設定	ビットレート	説明
60i 24M(FX)	最大24 Mbps	1920×1080(60i)の高画質で撮影する。
60i 17M(FH)	平均17 Mbps	1920×1080(60i)の標準画質で撮影する。
60p 28M(PS)	最大28 Mbps	1920×1080(60p)の最高画質で撮影する。 • 撮影した動画を扱うには対応機器が必要です。
24p 24M(FX)	最大24 Mbps	1920×1080(24p)の高画質で撮影する。 映画のような雰囲気で記録できる。
24p 17M(FH)	平均17 Mbps	1920×1080(24p)の標準画質で撮影する。 映画のような雰囲気で記録できる。

[記録方式] が [MP4] のとき

記録設定	平均ビットレート	説明
1440×1080 12M	12 Mbps	1440×1080で撮影する。
VGA 3M	3 Mbps	VGAサイズで撮影する。

ご注意

- ・ [記録設定] を [60p 28M(PS)] または [60i 24M(FX)]、[24p 24M(FX)] にして撮影した動画からAVCHD記録ディスクを作成すると、画質が変換されるため、ディスク作成に時間がかかります。画質を変換せずに保存したい場合は、ブルーレイディスクをお使いください。

絞りとシャッタースピードを設定して動画を撮る

絞りやシャッタースピードを設定して、背景のぼかし具合や流動感を思い通りにコントロールした動画を撮影できます。

1 モードダイヤルを (動画) にする。

2 MENUボタン → (撮影設定) 6 → [動画] → 希望のモードを選ぶ。

P(プログラムオート)(37) : 露出(シャッタースピードと絞り)は本機が自動設定するが、その他の設定は自分で調整でき、設定した値は保持される。

A(絞り優先)(51) : 絞りを手動設定する。

S(シャッタースピード優先)(52) : シャッタースピードを手動設定する。

M(マニュアル露出)(53) : 露出(シャッタースピードと絞り)を手動設定する。

3 MOVIE(動画)ボタンを押して撮影する。

静止画を見る

1 ▶(再生)ボタンを押す。



2 コントロールホイールの
▶(次) /◀(前)を押す、または
コントロールホイールを回して画
像を選ぶ。

- 拡大するには、④ボタンを押す。最初は
大きく拡大されますので
コントロールホイールを回して倍率を調整
してください。



撮影に戻るには

- ▶(再生)ボタンを押す。
- シャッターボタンを半押ししても撮影に戻ります。

動画を見る

1 ▶(再生)ボタンを押して再生モードにする。

2 コントロールホイールで再生したい動画を選び、中央の●を押す。

動画の再生が始まる。

- もう一度中央の●を押すと、一時停止します。再生中に◀/▶を押すと早戻し、早送りができます。▼を押すと、操作パネルが表示されます。

操作パネル	できること
▶	再生
⏸	一時停止
▶▶	早送り
◀◀	早戻し
▶▶▶	スロー再生
◀◀▶	スロー逆再生
▶▶▶▶	次の動画
◀◀▶▶	前の動画
▶▶▶▶▶	コマ送り
◀◀▶▶▶	コマ戻し
▶▶▶▶▶▶	音量設定
↶	操作パネルを閉じる

テレビで再生するには

HDMIケーブル(別売)で本機とテレビを接続する。

素早く探す(一覧表示)

-
- 1 ▶(再生)ボタンを押して再生モードにし、コントロールホイールの▢ボタンを押す。



-
- 2 コントロールホイールの▲/▼/◀/▶を押す、またはコントロールホイールを回して画像を選ぶ。
• コントロールホイール中央の●を押すと、1枚再生に戻ります。

希望の画像を素早く表示するには

コントロールホイールで左側のバーを選び、▲/▼でページを送ることができます。
また、左側のバーを選んで

コントロールホイール中央の●を押すと、カレンダー画面またはフォルダー選択画面になり、日付またはフォルダーを選べます。アイコンを選んでビューモードを切り換えることもできます(97ページ)。



削除する

-
- 1 □(再生)ボタンを押して削除したい画像を表示し、廻(削除)ボタンを押す。



- 2 コントロールホイールの▲で[削除]を選び、中央の●を押す。

- MENUボタン → □(再生) 1 → [削除]で、複数の画像を一度に削除することもできます(97ページ)。

すべての画像を削除する(フォーマット)

メモリーカードのデータをすべて削除します。フォーマットするとプロテクトしてある画像も含めて、すべてのデータが消去され、元に戻せません。

MENUボタン → (セットアップ) 5 → [フォーマット] → [実行]を選ぶ。

見る

その他の再生機能を使う

本機はこの他にも多くの再生機能を搭載しています。テレビでの再生方法、撮った画像のプリント方法、連続再生(スライドショー)などの詳細は、ヘルプガイドで確認できます。(11ページ)

- ヘルプガイド
http://www.sony.jp/support/manual_dslr.html

電子音の設定を変える

本機の電子音が鳴るかどうかを設定します。

1 MENUボタン →  (セットアップ) 1 → [電子音] → 希望の設定を選ぶ。

入：ピントが合ったときや、セルフタイマー作動時などに動作音が鳴る。

切：動作音は鳴らない。

PlayMemories Homeを使う

撮影した静止画、動画を、パソコンに取り込んで閲覧や活用ができます。AVCHD動画をパソコンに取り込む場合はPlayMemories Homeが必要です。

PlayMemories Homeでできること

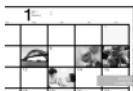


カメラの画像をPCに取り込み

取り込んだ画像を再生する



Windowsでは以下の機能も使えます。



カレンダーで表示



動画ディスクを作成



ネットワークサービスにアップロード

PlayMemories Online™で画像をシェア



パソコンで見る

- カメラとパソコンを接続し、PlayMemories Homeを起動して、[お知らせ]をクリックするとImage Data Converter(RAW画像編集ソフト)やRemote Camera Controlなどのソフトウェアがダウンロードできます。

パソコン環境を確認する

ソフトウェアのパソコン環境は以下のURLよりご確認いただけます。

www.sony.net/pcenv/



ご注意

- PlayMemories Homeのインストールにはインターネット接続が必要です。
- PlayMemories Online、各ネットワークサービスの利用にはインターネット接続が必要です。
- Mac用アプリケーションについては、以下のURLもご覧ください。
<http://www.sony.co.jp/imsoft/Mac/>
- 2011年以前の機種に付属のソフトウェアPMB(Picture Motion Browser)がインストールされている場合、PlayMemories Homeが上書きインストールされます。PMBの後継ソフトウェアPlayMemories Homeをご使用ください。

PlayMemories Homeをインストールする

1 パソコンのインターネットブラウザで以下のダウンロードサイトにアクセスしてPlayMemories Homeをインストールする。

www.sony.net/pm/

- PlayMemories Homeサポートページ(<http://www.sony.co.jp/pmh-sj/>)で詳しい操作方法をご確認いただけます。
- インストールが完了すると、PlayMemories Homeが起動します。

2 本機とパソコンを付属のマイクロUSBケーブルで接続する。

- PlayMemories Homeに新たに機能が追加されることがあります。すでにPlayMemories Homeがインストールされている場合でも、本機とパソコンを接続してください。

ご注意

- カメラの動作中やアクセス中の画面が表示されている場合、カメラ本体からマイクロUSBケーブル(付属)をはずさないでください。データが壊れることがあります。
- パソコンとの接続を切断するには、タスクトレイのをクリックし、 (切断アイコン)をクリックしてください。Windows Vistaのときはタスクトレイのをクリックしてください。

Image Data Converterを使う

RAW画像を補正してJPEG/TIFFに変換できます。

Image Data Converterでできること

次のことなどができます。

- RAW画像を再生し、トーンカーブやシャープネスなど多彩な補正機能で編集
- ホワイトバランスや露出、クリエイティブスタイルなどの静止画の調整
- 表示、編集した静止画をパソコンに保存
RAWデータのまま保存する方法と、汎用ファイルフォーマット形式 (JPEG/TIFF) で保存する方法があります。
- 本機で撮影したRAW画像/JPEG画像の表示、比較
- 5段階でランク付け
- カラーラベルの設定

Image Data Converterをインストールする

1 パソコンのインターネットブラウザで以下のURLにアクセスする。

<http://www.sony.co.jp/ids-sj/>

2 画面の指示に従ってImage Data Converterをダウンロードしてインストールする。

ご注意

- Image Data Converterのインストールにはインターネット接続が必要です。

Image Data Converterガイドを見る

Image Data Converterの操作について詳しくは、
Image Data Converterガイドをご覧ください。

Windows :

-
- 1 [スタート] → [すべてのプログラム] →
[Image Data Converter] → [ヘルプ] →
[Image Data Converter Ver.4]

Windows 8の場合は、[Image Data Converter Ver.4]を起動して、メニューバーの[ヘルプ] → [Image Data Converterガイド]を選ぶ。

Mac :

-
- 1 Finderを起動して [アプリケーション] →
[Image Data Converter] →
[Image Data Converter Ver.4] → メニューバーの
[ヘルプ] → [Image Data Converterガイド] を選ぶ。
-

- Image Data Converterのサポートページ(<http://www.sony.co.jp/ids-sj/>)でも詳しい操作方法をご確認いただけます。

Remote Camera Controlでできること

パソコンと本機を接続してRemote Camera Controlをご利用になると、次のことができます。

- 本機の設定、撮影をパソコンで行います。
- 撮影した画像を直接パソコンに記録します。
- インターバルタイマー撮影を行います。

MENUボタン →  (セットアップ) 4 → [USB接続] → [PCリモート]にしてから使います。詳しい使いかたは、ヘルプをご覧ください。

Remote Camera Controlをインストールする

1 パソコンのインターネットブラウザで以下のURLにアクセスする。

Windows:

<http://www.sony.co.jp/imsoft/Win/>

Mac:

<http://www.sony.co.jp/imsoft/Mac/>

2 画面の指示に従ってRemote Camera Controlをダウンロードしてインストールする。

ご注意

- Remote Camera Controlのインストールにはインターネット接続が必要です。

カメラに機能を追加する

インターネットでアプリケーションダウンロードサイト

(PlayMemories Camera Apps™)に接続して、お好みの機能を本機に追加できます。以下のような機能などを追加できます。

- 多彩なエフェクトで撮影
- ネットワークサービスに直接アップロード

アプリケーションをダウンロードする

1 パソコンでアプリケーションダウンロードサイトへアクセスする。

<http://www.sony.net/pmca>

- ダウンロードに必要なパソコンの動作環境は、アプリケーションダウンロードサイトをご確認ください。

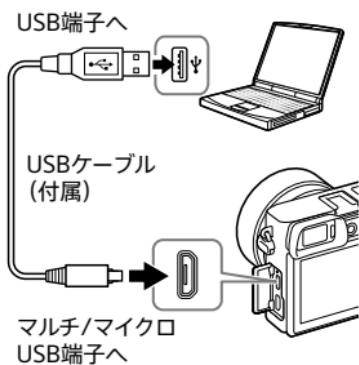
2 画面の指示に従って、サービスアカウントを取得する。(初回のみ)

- アカウントをお持ちの場合は、アプリケーションダウンロードサイトへサインインしてください。

3 お好みのアプリケーションを選び、

画面の指示に従って本機にアプリケーションをダウンロードする。

- 画面の指示に従って、パソコンと本機をマイクロUSBケーブル(付属)で接続してください。



本機のWi-Fi機能で直接ダウンロードするには

- Wi-Fi機能を使って、パソコンを使用せずにダウンロードすることもできます。
 - あらかじめサービスアカウントを取得してください(87ページ)。
 - MENUボタン →  (Wi-Fi) 2 → [アクセスポイント手動登録] → 接続したいアクセスポイントを選んで中央の●を押す → [IPアドレス設定] が[マニュアル]になっている場合は[オート]に変更してください。
 - MENUボタン →  (アプリケーション) 1 → [アプリ一覧] →  (PlayMemories Camera Apps) を選び、画面の指示に従ってダウンロードしてください。

アプリケーションを起動する

-
- 1 MENUボタン →  (アプリケーション) 1 → [アプリ一覧] → 希望のアプリケーションを選んで起動する。
-

NFC機能を使ってアプリケーションを起動する

- [ワンタッチ(NFC)]を使うと、NFC機能搭載のAndroidスマートフォンを本機のにタッチして、アプリケーションを呼び出すことができます。
あらかじめ、下記の手順で呼び出したいアプリケーションを設定してください。
- MENUボタン →  (Wi-Fi) 1 → [ワンタッチ (NFC)] → 希望のアプリケーション
- 本機を撮影画面にしてからスマートフォンをタッチしてください。再生画面のときは、この方法ではアプリケーションを起動できません。
- ご購入時、[ワンタッチ(NFC)]には[スマートリモコン内蔵版]が割り当てられています。

MENUボタンで選ぶ機能一覧

📷(撮影設定)

📷 画像サイズ	静止画のサイズを選択する。 (L:24M/M:12M/S:6.0M(3:2のとき) L:20M/M:10M/S:5.1M(16:9のとき))
📷 横縦比	静止画の横縦比を選択する。 (3:2/16:9)
📷 画質	静止画の画質を設定する。 (RAW/RAW+JPEG/ファイン/スタンダード)
パノラマ: 画像サイズ	パノラマ画像のサイズを選択する。 (標準/ワイド)
パノラマ: 撮影方向	パノラマの撮影方向を設定する。 (右/左/上/下)
動画記録方式	動画を記録するときの記録方式を設定する。 (AVCHD/MP4)
動画記録設定	動画のサイズを選択する。 (60i 24M(FX) /60i 17M(FH) /60p 28M(PS) / 24p 24M(FX) /24p 17M(FH) /1440×1080 12M/ VGA 3M)
ドライブモード	連続撮影などの撮影方法を設定する。 (1枚撮影/連続撮影/セルフタイマー/ セルフタイマー(連続)/連続ブラケット/ 1枚ブラケット/ホワイトバランスブラケット/ DROブラケット)
フラッシュモード	フラッシュの発光方式を設定する。 (発光禁止/自動発光/強制発光/スローシンクロ/ 後幕シンクロ/ワイヤレス)
調光補正	フラッシュの発光量を調整する。 (-3.0EV ~+3.0EV)
赤目軽減発光	フラッシュ撮影時、目が赤くなるのを軽減する。 (入/切)

機能を
一覧で確認する

フォーカスマード	ピント合わせの方法を選ぶ。 (シングルAF/AF制御自動切り替え/ コンティニュアスAF/DMF/マニュアルフォーカス)
フォーカスエリア	ピント合わせの位置を選ぶ。 (ワイド/ゾーン/中央/フレキシブルスポット)
AF補助光	暗所でピントを合わせるための補助光を発光する。 (オート/切)
AF駆動速度	動画撮影時、オートフォーカスのピント合わせ速度 を切り換える。 (高速/標準/低速)
AF追従感度	動画撮影時、オートフォーカスの追従感度を設定す る。 (高/標準)
露出補正	画像全体の明るさを補正する。 (-5.0EV ~+5.0EV)
露出値ステップ幅	シャッタースピード、絞り値、露出補正值の設定幅 を設定する。 (0.5段/0.3段)
ISO感度	ISO感度を設定する。 (マルチショットNR/ISO AUTO/ISO 100~ISO 25600)
測光モード	明るさを測る方法を選ぶ。 (マルチ/中央重点/スポット)
ホワイトバランス	撮影場所の光の状況に合わせて画像の色合いを調 整する。 (オート/太陽光/日陰/曇天/電球/ 蛍光灯:温白色/蛍光灯:白色/蛍光灯:昼白色/ 蛍光灯:昼光色/フラッシュ/水中オート/ 色温度・カラーフィルター/カスタム/ カスタムセット)
DRO/オートHDR	明るさ、コントラストを自動補正する。 (切/Dレンジオプティマイザー/オートHDR)
クリエイティブスタイル	お好みの画像の仕上がりを選ぶ。 コントラスト、彩度、シャープネスの調整もできる。 (スタンダード/ビビッド/ニュートラル/クリア/ディープ/ ライト/ポートレート/風景/夕景/夜景/紅葉/白黒/ セピア/スタイルボックス1~6)

ピクチャーエフェクト	好みの効果を使って、より印象的でアーティスティックな表現の画像を撮影できる。 (切/トイカメラ/ポップカラー/ポスタリゼーション/レトロフォト/ソフトハイキー/パートカラー/ハイコントラストモノクロ/ソフトフォーカス/絵画調HDR/リッチトーンモノクロ/ミニチュア/水彩画調/イラスト調)
ズーム	本体側のズームの倍率を設定する。
ピント拡大	撮影前の画像を拡大してピントの確認ができる。
長秒時NR	シャッタースピードを1秒以上にした場合のノイズ軽減処理を設定する。 (入/切)
高感度NR	高感度撮影した場合のノイズ軽減処理を設定する。 (標準/弱/切)
ロックオンAF	被写体を追尾してピントを合わせ続ける機能を設定する。 (切/入/入(シャッター半押し開始))
顔検出/スマイルシャッター	人物の顔を自動でとらえ、ピントや露出を最適にする。笑顔を検出すると自動で撮影する。 (切/入(登録顔優先) /入/スマイルシャッター)
美肌効果	顔検出時、被写体の美肌効果を設定する。 (切/入)
オートフレーミング	人物の顔やマクロ撮影する被写体、または [ロックオンAF]でとらえた被写体を検出して、撮影するときにシーンを分析して、印象の異なる構図で画像を保存する。 (切/オート)
シーンセレクション	撮影状況に合わせて、あらかじめ用意された設定で撮影する。 (ポートレート/スポーツ/マクロ/風景/夕景/夜景/手持ち夜景/夜景ポートレート/人物ブレ軽減)
動画	撮りたい被写体や効果に合わせて、撮影モードを選んで撮影する。 (プログラムオート/絞り優先/ シャッタースピード優先/マニュアル露出)
手ブレ補正	撮影時の手ブレ補正を設定する。 (入/切)

■色空間	再現できる色の範囲を変更する。 (sRGB/AdobeRGB)
■オートスローシャッター	動画撮影時、被写体が暗いときに自動でシャッタースピードを遅くするかどうかを設定する。 (入/切)
音声記録	動画撮影時、音声記録を行うかどうかを設定する。 (入/切)
風音低減	動画撮影時、風音を低減する。 (入/切)
撮影アドバイス一覧	撮影アドバイスの一覧を表示する。
登録呼び出し	登録した設定で撮影する。
登録	好みのモード、カメラの設定を登録する。

✿(カスタム設定)

ゼebra	明るさ調整の目安になる縞表示を設定する。 (切/70~100/100+)
■MFアシスト	手動ピント合わせ時に画像を拡大表示する。 (入/切)
ピント拡大時間	拡大表示する時間を設定する。 (2秒/5秒/無制限)
グリッドライン	構図を合わせるための線を表示する。 (3分割/方眼/対角十方眼/切)
オートレビュー	撮影したあと、撮った画像を表示するオートレビューの設定をする。 (10秒/5秒/2秒/切)
DISPボタン	コントロールホイールのDISPを押してモニターやファインダーに表示する情報の種別を設定する。 (グラフィック表示/全情報表示/情報表示なし/ヒストグラム/ファインダー撮影用)
ピーキングレベル	マニュアルフォーカス撮影のときに、ピントが合った部分の輪郭を指定された色で強調表示する設定をする。 (高/中/低/切)

ピーキング色	輪郭を強調表示するピーキング表示の色を設定する。 (レッド/イエロー/ホワイト)
露出設定ガイド	撮影画面で露出設定を変更したときに表示するガイドの設定をする。 (切/入)
ライブビュー表示	モニターの表示に、露出補正などの設定値を反映するかどうかを設定する。 (設定効果反映On/設定効果反映Off)
コンティニュアスAFエリア表示	コンティニュアスAF時にフォーカスエリアを表示するかどうか設定する。 (入/切)
プリAF	シャッターボタンを半押しする前から、自動でオートフォーカスするかしないかを設定する。 (入/切)
ズーム設定	全画素超解像ズーム、デジタルズームを使用するかどうか設定する。 (光学ズームのみ/入：全画素超解像ズーム/入：デジタルズーム)
アイスタートAF	マウントアダプターLA-EA2、LA-EA4(別売)を装着時、ファインダーのぞくとオートフォーカスするかどうかを設定する。 (入/切)
FINDER/MONITOR	ファインダーとモニターの表示切り替え方法を設定する。 (オート/ファインダー/モニター)
レンズなしリリーズ	レンズが装着されていない状態でシャッターが切れるかどうか設定する。 (許可/禁止)
シャッター半押しAF	シャッターボタンを半押ししたときに、オートフォーカスによるピント合わせを行うかどうかを設定する。ピント合わせと露出決定を別々に行いたいときに有効。 (入/切)

■シャッター半押しAEL	シャッターボタンを半押ししたときに、露出決定を行うかどうかを設定する。ピント合わせと露出決定を別々に行う設定にできる。 (オート/入/切)
電子先幕シャッター	電子先幕シャッター機能を使用するかどうかを設定する。 (入/切)
プレミアムオート画像抽出	[プレミアムおまかせオート]で複数枚撮影するシーンと判定したときに、自動的に画像を一枚抽出して保存するかどうかを設定する。 (オート/切)
露出補正の影響	露出補正值をフラッシュの調光に反映するかどうかを設定する。 (定常光+フラッシュ/定常光のみ)
ブラケット順序	露出ブラケット、ホワイトバランスブラケットの撮影順序を設定する。 (0 → - → +/− → 0 → +)
個人顔登録	優先してピントを合わせる人物の登録・編集を行う。 (新規登録/優先順序変更/削除/全て削除)
AF微調整	マウントアダプターLA-EA2、LA-EA4(別売)装着時、オートフォーカスでのピント位置を微調整する。 (AF微調整設定/調整値/調整値クリア)
レンズ補正	レンズ補正の種類を選ぶ。 (周辺光量補正/倍率色収差補正/歪曲収差補正)
ファンクションメニュー設定	Fn(ファンクション)ボタンで表示する機能をカスタマイズする。 (ライブモード/フラッシュモード/調光補正/フォーカスマード/フォーカスエリア/露出補正/ISO感度/測光モード/ホワイトバランス/DRO/オートHDR/クリエイティブスタイル/撮影モード/ピクチャーエフェクト/ロックオンAF/顔検出/スマイルシャッター/美肌効果/オートフレーミング/画像サイズ/横縦比/画質/手ブレ補正/ゼブラ/グリッドライン/ピーキングレベル/ピーキング色/未設定)

カスタムキー設定	あらかじめキーに機能を設定しておくと、撮影情報画面でキーを押すだけで設定しておいた機能を実行できる。 (AELボタン/中央ボタン/左ボタン/右ボタン/下ボタン/カスタムボタン1/カスタムボタン2)
ダイヤル/ホイールの設定	撮影モードがMのとき、コントロールダイヤルとコントロールホイールに、シャッタースピードと絞り値のどちらを割り当てるかを設定する。 (◎ シャッター ■■■ 絞り/ ◎ 絞り ■■■ シャッター)
ダイヤル/ホイール露出補正	コントロールダイヤルまたはコントロールホイールで露出補正ができるように設定する。 (切/◎ ホイール/ ■■■ ダイヤル)
MOVIE(動画)ボタン	MOVIEボタンが有効になるモードを設定する。 (常に有効/動画モードのみ有効)
ダイヤル/ホイールロック	Fnボタンを押して、撮影時にコントロールダイヤル/コントロールホイールを一時的に無効にする機能を設定する。Fnボタンを押し続けることでロックまたはロック解除する。 (入/切)

■(ワイヤレス)

スマートフォン転送	スマートフォンに画像を表示、転送する。 (カメラから選ぶ/スマートフォンから選ぶ)
パソコン保存	本機の画像をネットワークにつながれたパソコンに転送し、バックアップをとる。
テレビ鑑賞	ネットワークにつながれたテレビで画像を見る。
ワンタッチ(NFC)	ワンタッチ(NFC)にアプリケーションを1つ割り当てる。撮影時にNFC対応スマートフォンを本機にタッチすると、そのアプリケーションが起動する。
飛行機モード	飛行機などに搭乗するとき、Wi-Fi/NFC機能を使用する設定を一時的にすべて無効にする。 (入/切)
アクセスポイント簡単登録	WPSボタンを押すことで、簡単にアクセスポイントを登録できる。
アクセスポイント手動登録	手動でアクセスポイントを登録できる。
機器名称変更	Wi-Fi Directなどの機器名称を変更する。
MACアドレス表示	本機のMACアドレスを表示する。
SSID・PWリセット	スマートフォン接続の接続情報をリセットする。
ネットワーク設定リセット	すべてのネットワーク設定をリセットする。

■(アプリケーション)

アプリ一覧	アプリケーションの一覧を表示する。使いたいアプリケーションを選択できる。
サービス紹介	アプリケーションの使い方を表示する。

□(再生)

削除	画像を削除する。 (画像選択/このフォルダーの全画像/ この日付の全画像)
ビューモード	再生する画像のグルーピング方法を設定する。 (日付ビュー/フォルダービュー(静止画) / フォルダービュー(MP4) /AVCHDビュー)
一覧表示	一覧表示する枚数を選ぶ。 (12枚/30枚)
記録画像の回転表示	縦向きで記録した静止画の再生方法を設定する。 (マニュアル/切)
スライドショー	画像を連続再生する。 (リピート/間隔設定)
回転	画像を回転する。
⊕ 拡大	再生画像を拡大表示する。
4K静止画再生	HDMI接続した4K対応テレビに4K解像度で静止画 を出力する。
プロジェクト	画像を誤って消さないように保護(プロジェクト)す る。 (画像選択/このフォルダーの全画像/ この日付の全画像/このフォルダーを全て解除/ この日付を全て解除)
プリント指定	メモリーカードの画像にプリント予約マークを付け る。 (画像選択/全画像解除/印刷設定)

■(セットアップ)

モニター明るさ	モニターの明るさを設定する。 (マニュアル/屋外晴天)
ファインダー明るさ	ファインダー使用時、ファインダーの明るさを設定 する。 (オート/マニュアル)

ファインダー色温度	ファインダーの色温度を設定する。
音量設定	動画再生時の音量を設定する。
電子音	ピントが合ったときや、セルフタイマー作動時の動作音の有り無しを設定する。 (入/切)
アップロード設定	市販のEye-Fiカードを使うときのアップロード通信設定をする。 (入/切)
タイルメニュー	MENUボタンを押したときに、タイルメニューを表示するかを設定する。 (入/切)
モードダイヤルガイド	モードダイヤルガイド(各撮影モードの説明)の表示を設定する。 (入/切)
削除確認画面	削除の確認画面で、[削除]と[キャンセル]のどちらを選択された状態にするかを設定する。 (「削除」が先/「キャンセル」が先)
パワーセーブ開始時間	省電力モードになる時間を設定する。 (30分/5分/2分/1分/10秒)
クリーニングモード	イメージセンサーをクリーニングする。
デモモード	動画のデモンストレーションの入/切を設定する。 (入/切)
リモコン	赤外リモコンを使用する/しないを設定します。 (入/切)
HDMI解像度	HDMI端子からテレビに出力する解像度を選ぶ。 (オート/1080p/1080i)
HDMI機器制御	ブラビア™リンク対応のテレビと接続した場合、テレビのリモコンで操作するかどうか設定する。 (入/切)
HDMI情報表示	HDMI対応テレビ接続時に、テレビ側へ情報表示を行うかを設定する。 (あり/なし)
USB接続	接続するパソコンやUSB機器に合わせて設定する。 (オート/マスストレージ/MTP/PCリモート)

USB LUN設定	USB接続の機能を制限して互換性を高める。通常は[マルチ]のまま使い、どうしても接続できない場合のみ、[シングル]に設定する。 (マルチ/シングル)
日時設定	時計、日付の設定をする。
エリア設定	本機を使用する場所に適した時刻に設定する。
フォーマット	メモリーカードをフォーマット(初期化)する。
ファイル番号	ファイル番号の付けかたを設定する。 (連番/リセット)
記録フォルダー選択	画像を記録するフォルダーを設定する。
フォルダー新規作成	静止画と動画(MP4)を記録する新しいフォルダーを作成する。
フォルダー形式	静止画を記録するフォルダーの形式を設定する。 (標準形式/日付形式)
管理ファイル修復	画像の管理ファイル修復を行い、記録・再生できるようにする。
メディア残量表示	現在撮影可能な動画の時間と静止画の枚数を表示する。
バージョン表示	本機のソフトウェアのバージョンを表示する。
認証マーク表示	本機が対応している認証情報を表示する(表示されるのは認証情報の一部のみになります)。
設定リセット	設定をお買い上げ時の設定に戻す。すべての設定を初期値に戻す場合は、[初期化]を選ぶ。 (撮影設定リセット/初期化)

撮影モードごとの設定できない機能

選んでいる撮影モードや設定によって、設定できない機能があります。
○は選択可能、×は選択不可能を表しています。

撮影モード/ その他設定	露出 補正 (64)	セルフ タイマー (68)	連続 撮影 (66)	ブラ ケット (66)	ISO (65)	オート HDR (90)
 	×	○	○	×	×	×
SCN (50) 	×	×	○	×	×	×
	×	○	×	×	×	×
	×	×	×	×	×	×
 (48)	○	×	×	×	×	×
P (37)	○	○	○	○	○	○
A (51)	○	○	○	○	○	○
S (52)	○	○	○	○	○	○
M (53)	○*	○	○	○	○	○
 (75)	○	×	×	×	○	×
オートHDR	○	×	×	×	○	○
RAW/RAW+JPEG	○	○	○	○	○	×

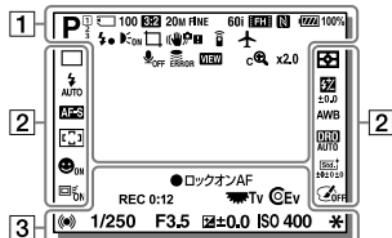
* ISO AUTOのときのみ設定可能です。

ご注意

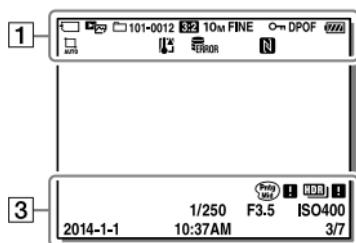
- となっている機能でも、選択できない設定値がある場合があります。
- その他の条件によっても制限される場合があります。

モニターに表示されるアイコン一覧

撮影時のアイコン一覧



再生時のアイコン一覧



1

表示	意味
i <i>Canon</i> i <i>Canon</i> P P* A S M	撮影モード (46)
i P A S M	
① 2 3	登録呼び出し (70)
OFF : :	メモリーカード/アップロード (98)
 	シーン認識マーク (36)
 	シーンセレクション (50)
100	撮影可能枚数 (105)

表示

表示	意味
3:2 16:9	静止画の画像横縦比 (89)
24M/ 20M/ 12M/ 10M/ 6.0M/ 5.1M	静止画の画像サイズ (44)
WIDE STD	
RAW RAW+J FINE STD	静止画の画質 (45)
60p 60i 24p	動画のフレームレート (74)
FX FH PS 1080 VGA	動画の記録設定 (74)
N	NFC有効
100%	バッテリー容量 (23)
	バッテリー残量警告 (23)
	フラッシュ充電表示 (40)

機能を一覧で確認する

表示	意味
	AF補助光(90)
	オートフレーミング 画像(91)
	手ブレ補正(91)
	リモコン(98)
	手ブレ警告
	飛行機モード(96)
	動画音声記録オフ (92)
	風音低減(92)
	温度上昇警告
	管理ファイルフル警 告/管理ファイルエ ラー警告
	設定効果反映Off (93)
	スマートズーム (38)
	全画素超解像ズーム (38)
	デジタルズーム (38)
	スポット測光サーク ル(90)
	ビューモード(97)
100-0003	フォルダー番号—ファ イル番号
AVCHD MP4	動画の記録方式 (74)

表示	意味
 ±3±3±3	クリエイティブスタイル(60)
	ロックオンAF(56)
 	ピクチャーエフェクト(62)
	スマイル検出感度インジケーター(91)

3

表示	意味
● ロックオンAF	ロックオンAF用ガイド表示(56)
REC 0:12	動画の記録時間(分 : 秒)
○Ev	コントロールホイールの機能(30)
■Tv	コントロールダイヤルの機能(31)
●(○)(○)	フォーカス(35)
1/250	シャッタースピード(52)
F3.5	絞り値(51)

表示	意味
M±0.0	メータードマニュアル(53)
±0.0	露出補正值(64)
ISO400	ISO感度(65)
*	AEロック
	シャッタースピードインジケーター(42)
	絞りインジケーター(42)
	ヒストグラム(42)
	ピクチャーエフェクトエラー(62)
HDR! !	オートHDR画像警告(90)
2014-1-1 10:37AM	撮影日時
3/7	画像番号/ビューモード内画像枚数

使用できるメモリーカード

以下の一覧を参考にして、使用するメモリーカードを選んでください。
静止画撮影、または動画撮影で使用できるメモリーカードを○で表しています。

対応メモリーカード	静止画	動画	本書での表現
メモリースティック XC-HG デュオ™	○	○	
メモリースティック PRO デュオ™	○	○(Mark2のみ)	メモリースティック PRO デュオ
メモリースティック PRO-HG デュオ™	○	○	
SDメモリーカード	○	○(Class 4以上)	
SDHCメモリーカード	○	○(Class 4以上)	SDカード
SDXCメモリーカード	○	○(Class 4以上)	

- 記録できる枚数/時間については、105~106ページをご覧ください。容量ごとの一覧を参考に、メモリーカードの容量を選んでください。
- SDカードはUHS-IIにも対応しています。

ご注意

- すべてのメモリーカードの動作を保証するものではありません。ソニー製以外のメモリーカードについては、各メーカーにお問い合わせください。

静止画の記録可能枚数と動画の記録可能時間

記録枚数/時間は、撮影状況および使用するメモリーカードによって異なる場合があります。

静止画

[**□画像サイズ**] : [L:24M]

[**□横縦比**] : [3:2] のとき*

(単位: 枚)

画質	本機でフォーマットしたメモリーカード					
	2GB	4GB	8GB	16GB	32GB	64GB
スタンダード	330	660	1340	2700	5400	10500
ファイン	200	410	820	1650	3300	6600
RAW+JPEG	54	105	220	440	880	1750
RAW	74	145	300	600	1200	2400

* [**□横縦比**] を [3:2] 以外に設定しているときは、上記の枚数より多く記録できます (RAW 設定時は除く)。

ご注意

- 他機で撮影した画像を再生すると、実際の画像サイズと異なって表示される場合があります。

動画

動画ファイルを合計したときの最大記録可能時間の目安です。

記録設定	本機でフォーマットしたメモリーカード					
	2GB	4GB	8GB	16GB	32GB	64GB
60i 24M(FX)	10分	20分	40分	1時間 30分	3時間	6時間
60i 17M(FH)	10分	30分	1時間	2時間	4時間 5分	8時間 15分
60p 28M(PS)	9分	15分	35分	1時間 15分	2時間 30分	5時間 5分
24p 24M(FX)	10分	20分	40分	1時間 30分	3時間	6時間
24p 17M(FH)	10分	30分	1時間	2時間	4時間	8時間
1440×1080 12M	20分	40分	1時間 20分	2時間 45分	5時間 30分	11時間
VGA 3M	1時間 10分	2時間 25分	4時間 55分	10時間	20時間	40時間

- 連続撮影可能時間は1回の撮影で約29分です(商品仕様による制限)。また、記録方式の設定をMP4(12M)にした場合、連続で撮影できる時間は約20分です(ファイルサイズ2GBによる制限)。

ご注意

- 撮影シーンに合わせて動画の画質を自動調節するVBR(Variable Bit-Rate)方式を採用しているため記録時間が変動します。
動きの速い映像を記録する場合、メモリーの容量を多めに使用してより鮮明な画像を記録しますが、その分記録時間は短くなります。
また、撮影環境や被写体の状態、画質/画像サイズの設定によっても記録時間は変動します。

故障かな？と思ったら

困ったときは、下記の流れに従ってください。

❶ 107～110ページの項目をチェックする。また、「ヘルプガイド（HTML）」も参照し、本機を点検する。

❷ バッテリーを取りはずし、約1分後再びバッテリーを入れ、本機の電源を入れる。

❸ 設定リセットをする（99ページ）。

❹ **α** 専用サポートサイトで確認する。

<http://www.sony.co.jp/DSLR/support/>

❺ 相談窓口に電話で問い合わせる。（裏表紙）

バッテリー・電源

本機にバッテリーを入れられない。

- バッテリーの向きを確認し、バッテリー取りはずしつまみがロックするまで挿入してください（21ページ）。

電源が入らない。

- 本機にバッテリーを取り付けた後、電源が入るまでに時間がかかることがあります。
- バッテリーが正しく取り付けられているか確認してください（21ページ）。
- バッテリーは使わなくても自然放電で少しずつ消耗します。充電をしてからお使いください。
- ソニー製純正のNP-FW50タイプのバッテリーをご確認ください。

電源が切れる。

- 本機やバッテリーの温度によっては、カメラを保護するために、自動的に電源が切れることができます。この場合は、電源が切れる前にモニターにメッセージが表示されます(5ページ)。
- 操作しない状態が一定時間続くと、省電力設定(パワーセーブ)になります。シャッターボタンを半押しするなどの操作をすれば、パワーセーブは解除されます。

電池の消耗が早い。

- [リモコン]が[入]になっているときは、パワーセーブ機能が働きません。リモコン使用後は[切]にしてください。

バッテリーの残量表示が正しくない。

- 温度が極端に高い、または低いところで使用しているときの現象です。
- 残量表示と実際のズレが生じています。バッテリーを一度使い切ってから充電すると正しい表示に戻ります。ご使用状況によっては、表示にズレが生じことがあります。
- 使用回数や経年変化により、バッテリー容量は低下します。使用できる時間が大幅に短くなった場合は、バッテリーの寿命です。新しいものをお買い上げください。

バッテリー充電中、本機の充電ランプが点滅する。

- NP-FW50タイプのバッテリーかご確認ください。
- バッテリーを取りはずし、もう一度同じバッテリーを本機に入れてください。
- 1年以上使用していないバッテリーは劣化の可能性があります。
- 充電に適した温度範囲外にあるため、充電の一時待機状態になっています。バッテリーの充電は周囲温度が10°C~30°Cの環境で行うことをおすすめします。

充電ランプが消えて充電が終わっても、充電ができていない。

- 温度が極端に高い、または低いところで充電しているときの現象です。バッテリーの充電は周囲温度が10°C~30°Cの環境で行ってください。

電源を入れてもモニターがつかない。

- [FINDER/MONITOR]がファインダーになっています。
[FINDER/MONITOR]を[オート]にしてください(93ページ)。

撮影

撮影できない。

- メモリーカードの空き容量を確認してください(105,106ページ)。いっぱいのときは、下記のいずれかを行ってください。
 - 不要な画像を削除してください(79ページ)。
 - メモリーカードを交換してください。
- フラッシュ充電中は撮影できません。
- 動画撮影に使用できるメモリーカードは、104ページをご覧ください。
- [デモモード]を[切]にしてください(98ページ)。
- セルフタイマーになっています。

ピント(フォーカス)が合わない。

- 被写体が近すぎます。レンズの最短撮影距離を確認してください。

画像が白っぽくなる(フレア)。

光のにじみが現れる(ゴースト)。

- 強い光源にカメラを向けるとレンズに余分な光が入ることで画像が白っぽくなったり(フレア)や光のにじみが現れる(ゴースト)が写ることがあります。故障ではありません。
ズームレンズ使用時は、レンズフードを取り付けてください。また強い光源に向けないように構図を工夫して撮影してください。

画像の隅が暗くなる。

- フィルターやフードをご使用の場合は、いったん取りはずしてお試しください。フィルターの厚みやフードの不適切な取り付けにより、画像にフィルターやフードが写り込むことがあります。また、レンズの光学的な特性により、画像周辺部が暗く写る場合(光量低下)があります。この場合は[周辺光量補正]機能を使用することをおすすめします。

再生

再生できない。

- メモリーカードが奥まで挿入されているか確認してください。
- パソコンでフォルダー/ファイルの名前を変更したためです。
- パソコンで画像を加工したファイルや他機で撮影した画像は、本機での再生は保証いたしません。
- 本機がパソコンにUSB接続されています。USB接続を終了してください。
- パソコン内の画像を本機で再生するにはPlayMemories Homeをご使用ください。

使用上のご注意

使用/保管してはいけない場所

- ・異常に高温、低温、または多湿になる場所
炎天下や夏場の窓を閉め切った自動車内は特に高温になり、放置すると変形したり、故障したりすることがあります。
- ・直射日光の当たる場所、熱器具の近くでの保管
変色したり、変形したり、故障したりすることがあります。
- ・激しい振動のある場所
- ・強力な磁気のある場所
- ・砂地、砂浜などの砂ぼこりの多い場所
海辺や砂地、あるいは砂ぼこりが起こる場所などでは、砂がかからないようにしてください。故障の原因になるばかりか、修理できなくなることもあります。

お手入れについて

レンズやフラッシュ発光部をきれいにする

レンズやフラッシュ発光部に指紋やゴミが付いて汚れたときは、柔らかい布などを使ってきれいにしてください。

表面をきれいにする

水やぬるま湯を少し含ませた柔らかい布で軽く拭いたあと、からぶきします。本機の表面が変質したり塗装がはげたりすることがあるので、以下のことは行わないでください。

- ・シンナー、ベンジン、アルコール、化学ぞうきん、虫除け、日焼け止め、殺虫剤のような化学薬品類の使用
- ・上記が手についたまま本機を扱うこと
- ・ゴムやビニール製品との長時間の接触

モニターのお手入れ

- ・手の脂、ハンドクリームなどが付いたままでいるとコーティングが剥がれやすくなりますので、早めに拭き取ってください。
- ・ティッシュペーパーなどで強く拭くとコーティングに傷がつくことがあります。
- ・モニターに指紋やゴミが付いて汚れたときは、表面のごみなどをやさしく取り除いてから、柔らかい布などを使ってきれいにすることをおすすめします。

動作温度にご注意ください

本機の動作温度は約0 °C～40 °Cです。動作温度範囲を越える極端に寒い場所や暑い場所での撮影はおすすめできません。

結露について

結露とは、本機を寒い場所から急に暖かい場所へ持ち込んだときなどに、本機の内部や外部に水滴が付くことです。この状態でお使いになると、故障の原因になります。

結露が起きたときは

電源を切って結露がなくなるまで約1時間放置し、結露がなくなってからご使用ください。特にレンズの内側に付いた結露が残ったまま撮影すると、きれいな画像を記録できませんのでご注意ください。

内蔵の充電式バッカアップ電池について

本機は日時や各種の設定を電源の入/切に関係なく保持するために充電式電池を内蔵しています。充電式電池は本機を使用している限り常に充電されていますが、使う時間が短いと徐々に放電し2ヶ月程度まったく使わないと完全に放電してしまいます。充電してから使用してください。ただし、充電式電池が充電されていない場合でも、日時を記録しないのであれば本機を使うことができます。

内蔵の充電式バッカアップ電池の充電方法

本機に充電されたバッテリーを入れて、電源を切ったまま24時間以上放置する。

バッテリーについて

バッテリーの充電について

周囲の温度が10°C ~ 30°Cの環境で充電してください。これ以外では、効率のよい充電ができないことがあります。

バッテリーの上手な使いかた

- 周囲の温度が低いとバッテリーの性能が低下するため、使用できる時間が短くなります。より長い時間ご使用いただくために、バッテリーをポケットなどに入れて温かくしておき、撮影の直前、本機に取り付けることをおすすめします。
- フラッシュ撮影、ズーム撮影などを頻繁にすると、バッテリーの消費が早くなります。
- 撮影には予定撮影時間の2~3倍の予備バッテリーを準備して、事前に試し撮りをしてください。
- バッテリーは防水構造ではありません。水などにぬらさないようにご注意ください。
- 高温になった車の中や炎天下などの気温の高い場所に放置しないでください。

- バッテリーの端子部が汚れると、電源が入らなかったり、充電ができないなどの症状が出る場合があります。このような場合は柔らかい布や綿棒などで軽く拭いて汚れを落としてください。

バッテリーの保管方法について

- バッテリーを長時間使用しない場合でも、機能を維持するために、1年に1回程度充電して本機で使い切り、その後本機を湿度の低い涼しい場所で保管してください。
- 本機でバッテリーを使い切るには、スライドショー(97ページ)を再生して、電源が切れるまでそのままにしてください。
- 本機から取り出したバッテリーは、接点汚れ、ショートなどを防止するため、携帯、保管時は必ずボリ袋などに入れて金属から離してください。

バッテリーの寿命について

- バッテリーには寿命があります。使用回数を重ねたり、時間が経過するにつれバッテリーの容量は少しづつ低下します。使用できる時間が大幅に短くなった場合は、寿命と思われますので新しいものをお買い上げください。
- 寿命は、保管方法、使用状況や環境によってバッテリーごとに異なります。

Eye-Fiカードについて

Eye-Fiカードは一部の国、または地域で販売しています。

- Eye-Fiカードに関するお問い合わせは、その製造者・販売者に直接ご確認ください。
- Eye-Fiカードはご購入された国、または地域のみで使用が認められています。使用する国、または地域の法律に従ってお使いください。

保証書とアフターサービス

記録内容の補償はできません

万一、カメラやメモリーカードなどの不具合などにより記録や再生されなかつた場合、記録内容の補償については、ご容赦ください。

保証書は国内に限られています

このカメラは国内仕様です。外国で万一、事故、不具合が生じた場合の現地でのアフターサービスおよびその費用については、ご容赦ください。

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お買い上げ店でお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめの上、大切に保存してください。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

“故障かな？と思ったら”の項目を参考にして故障かどうかお調べください。それでも具合の悪いときは相談窓口にご相談ください（裏表紙）。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の交換について

この商品は修理の際、交換した部品を再生、再利用する場合があります。その際、交換した部品は回収させていただきます。

部品の保有期間について

当社はカメラの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を製造打ち切り後7年間保有しています。ただし、故障の状況その他の事情により、修理に代えて製品交換をする場合がありますのでご了承ください。

安全のために

→ 2ページもあわせてお読みください。



下記の注意事項を守らないと、火災、大けがや死亡にいたる危害が発生することがあります。

分解や改造をしない

火災や感電の原因となります。内部点検や修理は相談窓口にご依頼ください。



分解禁止

内部に水や異物（金属類や燃えやすい物など）を入れない

火災、感電の原因となります。万一、水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り、電池を取り出してください。ACアダプター、バッテリーチャージャーなどもコンセントから抜いて、相談窓口にご相談ください。



禁止

運転中に使用しない

自動車、オートバイなどの運転をしながら、撮影、再生をしたり、モニターを見ることは絶対おやめください。交通事故の原因となります。



禁止

撮影時は周囲の状況に注意をはらう

周囲の状況を把握しないまま、撮影を行わないでください。事故やけがなどの原因となります。



禁止

指定以外の電池、ACアダプター、バッテリーチャージャーを使わない

火災やけがの原因となることがあります。



禁止

機器本体や付属品、メモリーカードは、乳幼児の手の届く場所に置かない

電池などの付属品や、メモリーカードなどを飲み込むおそれがあります。乳幼児の手の届かない場所に置き、お子様がさわらぬようご注意ください。万一飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。



禁止

電池やショルダーベルト、ストラップを正しく取り付ける

正しく取り付けないと、落下によりけがの原因となることがあります。

また、ベルトやストラップに傷がないか使用前に確認してください。



指示

電源コードを傷つけない

熱器具に近づけたり、加熱したり、加工したりすると火災や感電の原因となります。

また、電源コードを抜くときは、コードに損傷を与えないように必ずプラグを持って抜いてください。



禁止

可燃性/爆発性ガスのある場所でフラッシュを使用しない



禁止

つづき



感電

下記の注意事項を守らないと、火災、大けがや死亡にいたる危害が発生することがあります。

フラッシュ、AF補助光などの撮影補助光を至近距離で人に向けてない

- 至近距離で使用すると視力障害を起こす可能性があります。特に乳幼児を撮影するときは、1m以上はなれてください。
- 運転者に向かって使用すると、目がくらみ、事故を起こす原因となります。



禁止

カメラのファインダーや取りはずしたレンズを通して、太陽や強い光を見ない

視力障害や失明の原因となります。



禁止

長時間、同じ持ち方で使用しない。

使用中に本機が熱いと感じなくとも皮膚の同じ場所が長時間触れたままの状態でいると、赤くなったり水ぶくれができるなど低温やけどの原因となる場合があります。

以下の場合は特にご注意いただき、三脚などをご利用ください。

- 気温の高い環境でご使用になる場合。
- 血行の悪い方、皮膚感覚の弱い方などがご使用になる場合。



禁止

ワイヤレス機能ご使用上の注意

病院などの医療機関内、医療用電気機器の近くではワイヤレス機能を使用しない

電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となるおそれがあります。



禁止

航空機内ではワイヤレス機能を使用しない

電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となるおそれがあります。



禁止

本製品を使用中に他の機器に電波障害などが発生した場合は、ワイヤレス機能の使用を中止する

電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となるおそれがあります。



指示

その他

⚠ 注意



下記の注意事項を守らないと、けがや財産に損害を与えることがあります。

水滴のかかる場所など湿気の多い場所やはこり、油煙、湯気の多い場所では使わない

火災や感電の原因になることがあります。



禁止

ぬれた手で使用しない

感電の原因になることがあります。



ぬれ手禁止

不安定な場所に置かない

ぐらついた台の上や傾いた所に置いたり、不安定な状態で三脚を設置すると、製品が落ちたり倒れたりして、けがの原因となることがあります。



禁止

コード類は正しく配置する

電源コードやパソコン接続ケーブル、A/V接続ケーブルなどは、足に引っ掛けると製品の落下や転倒などによりけがの原因となることがあるため、充分注意して接続・配置してください。



指示

通電中のACアダプター、バッテリーチャージャー、充電中の電池や製品に長時間ふれない

長時間皮膚が触れたままになっていると、低温やけどの原因となることがあります。



禁止

使用中は機器を布で覆ったりしない

熱がこもってケースが変形したり、火災、感電の原因となることがあります。



禁止

長期間使用しないときは、電源をはずす

長期間使用しないときは、電源プラグをコンセントからはずしたり、電池を本体からはずして保管してください。火災の原因となることがあります。



フラグをコンセントから抜く

フラッシュの発光部を手でさわらない

フラッシュ発光部を指・手袋などで覆ったまま発光しない。また、発光後もしばらくは発光部に手を触れないでください。やけど、発煙、故障の原因となります。



禁止

フラッシュ発光部を正常な位置に上げない状態で使用しない

指定外のアクセサリーを装着した場合や、撮影時のスタイル等で、フラッシュ発光部が上がりきらない状態で発光させると、火災の原因となることがあります。



禁止

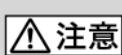
レンズやモニターに衝撃を与えない

レンズやモニターはガラス製のため、強い衝撃を与えると割れて、けがの原因となることがあります。



禁止

つづき



下記の注意事項を守らないと、けがや財産に損害を与えることがあります。

電池や付属品、メモリーカード、アクセサリーなどを取りはずすときは、手をそえる



指示

電池やメモリーカードなどが飛び出しがあります。けがの原因となることがあります。

直射日光の当たる場所に放置しない



禁止

太陽光が近くの物に結像すると、火災の原因になります。やむを得ず直射日光下に置く場合は、レンズキャップを付けてください。

その他

**△ 危険 電池についての
安全上のご注意とお願い**

漏液、発熱、発火、破裂、誤飲による大けがや
やけど、火災などを避けるため、下記の注意
事項をよくお読みください。

△ 危険

- 乾電池型充電式電池・バッテリーパックは指定されたバッテリーチャージャー以外で充電しない。
- 電池を分解しない、火の中へ入れない、電子レンジやオーブンで加熱しない。
- 電池を火のそばや炎天下、高温になった車の中などに放置しない。このような場所で充電しない。
- 電池をコインやヘアピンなどの金属類と一緒に携帯、保管しない。
- 電池を水・海水・牛乳・清涼飲料水・石鹼水などの液体でぬらさない。ぬれた電池を充電したり、使用したりしない。



禁止

△ 警告

- 電池をハンマーなどでたたいたり、踏みつけたり、落下せたりするなどの衝撃や力を与えない。
- バッテリーパックが変形・破損した場合は使用しない。
- アルカリ電池/ニッケルマンガン電池は充電しない。
- 外装シールをはがしたり、傷つけたりしない。外装シールの一部またはすべてをはがしてある電池や破れのある電池は絶対に使用しない。



禁止

△ 注意

- 電池は、+、-を確かめ、正しく入れる。
- 電池を使い切ったときや、長期間使用しない場合は機器から取り出しておく。



指示

お願い



Li-ion

リチウムイオン電池

充電式電池の回収・リサイクルおよびリサイクル協力店については、
一般社団法人JBRCホームページ

<http://www.jbrc.net/hp/contents/index.html> を参照して下さい。

主な仕様

本体

[形式]

カメラタイプ：レンズ交換式デジタルカメラ
使用レンズ：Eマウントレンズ

[撮像部]

イメージセンサー：APS-Cサイズ
(23.5 mm × 15.6 mm)、CMOSイ
メージセンサー
総画素数：約24 700 000画素
カメラ有効画素数：約24 300 000画素

[アンチダスト]

システム：静電防止コートおよび超音波振
動によるアンチダスト機能

[オートフォーカス]

形式：位相差検出方式/コントラスト検出
方式
検出輝度範囲：EV0～EV20 (ISO 100相当、
F2.8レンズ使用)

[露出制御]

測光方式：イメージセンサーによる1 200分
割測光
測光範囲：EV0～EV20 (ISO 100相当、
F2.8レンズ使用)
ISO感度(推奨露光指数)：
静止画撮影時：AUTO、ISO100～
ISO25 600
動画撮影時：AUTO、ISO100～
ISO12 800相当
露出補正：±5.0EV(1/3、1/2EVステップ
切り換え可能)

[シャッター]

形式：電子制御式縦走リフオーカルプレー
ンシャッター
シャッタースピード範囲：
静止画撮影時：1/4 000秒～30秒、バ
ルブ
動画撮影時：1/4 000秒～1/4秒(1/3
段ステップ)、AUTO時は1/60秒まで
(オートスローシャッター時は1/30秒
まで)
フラッシュ同調速度：1/160秒

[記録メディア]

メモリースティック PRO デュオ、
SDカード

[液晶モニター]

形式：7.5 cm(3.0型)ワイド TFT駆動
ドット数：921 600ドット

[ファインダー]

形式：電子式ビューファインダー
総ドット数：1 440 000ドット
視野率：100%
倍率：約1.07倍(35mm判換算：約0.70倍、
50 mmレンズ、無限遠、視度 -1 m^{-1}
時)
アイポイント：最終光学面から約23 mm、
接眼枠から約21.4 mm(視度 -1 m^{-1}
時)

視度調整： -4.0 m^{-1} ～ $+3.0\text{ m}^{-1}$

[入出力端子]

マルチ/マイクロUSB端子*：USB通信
HDMI端子：HDMIタイプDマイクロ端子
*この商品にはマイクロUSB規格に
対応した機器をつなぐことができます。

[電源]

バッテリー：リチャージャブルバッテリー
パックNP-FW50

[消費電力]

E PZ 16-50mm F3.5-5.6 OSS*使用時：
ファインダー使用時：約2.8 W
モニター使用時：約2.4 W
* ILCE-6000L/ILCE-6000Yに付属

[その他]

Exif Print : 対応
PRINT Image Matching III : 対応
DPOF : 対応
外形寸法(CIPA準拠) (約) :
120.0 mm×66.9 mm×45.1 mm
(幅×高さ×奥行き)
本体質量 (CIPA準拠) (約) :
344 g(バッテリー、メモリースティック PRO デュオを含む)
285 g(本体のみ)
動作温度 : 0°C~40°C
記録方式 :
静止画記録方式 :
JPEG(DCF Ver.2.0、Exif Ver.2.3、
MPF Baseline)準拠、RAW(ソニー
ARW 2.3フォーマット)
動画記録方式(AVCHD方式) :
AVCHD規格 Ver.2.0準拠
映像 : MPEG-4 AVC/H.264
音声 : Dolby Digital 2ch
ドルビーデジタルステレオクリエーター
搭載
• ドルビーラボラトリーズからの実施
権に基づき製造されています。
動画記録方式(MP4方式) :
映像 : MPEG-4 AVC/H.264
音声 : MPEG-4 AAC-LC 2ch
USB通信 : Hi-Speed USB(USB2.0)

[フラッシュ]

ガイドナンバー : 6 (ISO100・m)
充電時間 : 約4秒
照射角 : 16mmレンズをカバー(レンズ表記
の焦点距離)
調光補正 : ±3.0EV(1/3、1/2EVステップ
切り換え可能)

[ワイヤレスLAN]

対応規格 : IEEE 802.11b/g/n
使用周波数帯 : 2.4 GHz帯
セキュリティー : WEP/WPA-PSK/
WPA2-PSK
接続方式 :
WPS (Wi-Fi Protected Setup) /
マニュアル
アクセス方式 :
インフラストラクチャーモード
NFC : NFCフォーラム Type 3 Tag準拠

ACアダプター

AC-UB10C/UB10D

定格入力 : AC 100 V ~ 240 V、
50 Hz/60 Hz, 70 mA
定格出力 : DC 5 V、0.5 A
動作温度 : 0 °C~ 40 °C
保存温度 : -20 °C~ +60 °C
外形寸法(約) :
50 mm×22 mm×54 mm
(幅×高さ×奥行き)

リチャージャブルバッテリー パックNP-FW50

使用電池 : リチウムイオン電池
最大電圧 : DC 8.4 V
公称電圧 : DC 7.2V
容量 : 公称容量 7.7 Wh(1 080 mAh)
定格(最小)容量 : 7.3 Wh(1 020 mAh)

レンズ

レンズ	E16-50mm ズームレンズ ¹⁾	E55-210mm ズームレンズ
付属機種	ILCE-6000L/ ILCE-6000Y	ILCE-6000Y
35mm判換算焦点距離 ²⁾ (mm)	24-75	82.5-315
レンズ群-枚	8-9	9-13
画角 ²⁾	83° - 32°	28.2° - 7.8°
最短撮影距離 ³⁾ (m)	0.25-0.3	1.0
最大撮影倍率(倍)	0.215	0.225
最小絞り	F22-F36	F22-F32
フィルター径(mm)	40.5	49
外形寸法(最大径×長さ) (約: mm)	64.7×29.9	63.8×108
質量(約: g)	116	345
手ブレ補正機能	あり	あり

1) 電動ズーム

2) ここで35mm判換算焦点距離および画角とは、APS-Cサイズ相当のイメージセンサーを搭載したデジタルカメラでの値を表します。

3) 最短撮影距離とは、イメージセンサー面から被写体までの最短距離を表します。

本機や付属品の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります、ご了承ください。

焦点距離について

本機での撮影画角は、35mm判カメラの画角よりも狭くなります。お手持ちのレンズの焦点距離を約1.5倍すれば、35mm判カメラとほぼ同じ画角で撮影できる焦点距離に相当する値を求めるすることができます。
(例: 焦点距離50mmのレンズを付けると、35mm判カメラで約75mmに相当する画像が得られます。)

商標について

- メモリースティックおよびはソニー株式会社の商標または登録商標です。
- Blu-ray Disc™ およびBlu-ray™はブルーレイディスクアソシエーションの商標です。
- AVCHD ProgressiveおよびAVCHD Progressiveロゴは、ソニー株式会社とパナソニック株式会社の商標です。
- Dolby、ドルビー、およびダブルD記号は、ドルビーラボラトリーズの商標です。
- HDMI、HDMI High-Definition Multimedia Interface およびHDMIロゴは、HDMI Licensing LLC の商標もしくは米国およびその他の国における登録商標です。
- Microsoft、Windows、Windows Vistaは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Macは米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。
- iOSは、シスコの登録商標または商標です。
- iPadは、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。
- SDXCロゴはSD-3C, LLCの商標です。
- Android、Google PlayはGoogle Inc.の登録商標または商標です。
- Wi-Fi、Wi-Fiロゴ、Wi-Fi PROTECTED SET-UPはWi-Fi Allianceの登録商標または商標です。
- NマークはNFC Forum, Inc.の米国およびその他の国における商標あるいは登録商標です。
- Felicaプラットフォームマークは、フェリカネットワークス株式会社の登録商標です。
- 「おサイフケータイ」は、株式会社NTTドコモの登録商標です。

- AOSSは、株式会社バッファローの商標です。
- DLNAおよびDLNA CERTIFIEDはDigital Living Network Allianceの商標です。
- Facebook、"f"ロゴはFacebook, Inc.の商標または登録商標です。
- YouTubeおよびYouTubeロゴは、Google Inc.の商標または登録商標です。
- Eye-FiはEye-Fi, Inc.の商標です。
- その他、本書に記載されているシステム名、製品名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。なお、本文中には™、®マークは明記していない場合があります。



索引

ア行

アイスターAF	93
赤目軽減発光	89
明るさ	64
アクセスポイント簡単登録	96
アクセスポイント手動登録	96
アップロード設定(Eye-Fi)	98
後幕シンクロ	40
アブリー覧	96
位相差AF	56
一覧表示	78
イラスト調	63
色空間	92
印刷	79, 97
エリア設定	99
オートHDR	90
オートスローシャッター	92
オートフォーカス	54
オートフレーミング	91
オートレビュー	92
おまかせオート	36
音声記録	92
音量	77, 98

カ行

絵画調HDR	63
回転	97
顔検出/スマイルシャッター	91
拡大	76, 97
画質	45
カスタムキー設定	72
画像サイズ	44
カメラ内ガイド	34
画面表示	42
画面表示一覧	101
管理ファイル修復	99

機器名称変更	96
記録画像の回転表示	97
記録可能枚数/時間	105
記録設定(動画)	74
記録フォルダー選択	99
記録方式(動画)	74
クイックナビ	43
グラフィック表示	42
クリア	60
クリーニングモード	98
クリエイティブスタイル	60
グリッドライン	92
言語	3
高感度NR	91
紅葉	60
個人顔登録	94
コンティニュアスAFエリア表示	93
コントラスト	90
コントロールダイヤル	31
コントロールホイール	30

サ行

サービス紹介	96
再生	76, 77
削除	79
削除確認画面	98
撮影	35
撮影アドバイス	34
撮影アドバイス一覧	92
撮影可能枚数	25
撮影モード	46
シーンセレクション	50
シーン認識	36
絞り優先	51
シャープネス	90
シャッタースピード優先	52
シャッター半押しAEL	94
シャッター半押しAF	93
充電	23

その他

初期化	79, 99	デジタルズーム	38
白黒	60	手ブレ補正	91
人物ブレ軽減	50	手持ち夜景	50
水彩画調	63	デモモード	98
スイングパノラマ	48	テレビ鑑賞(Wi-Fi)	96
ズーム	35, 38, 91	テレビで見る	77, 79
ズーム設定	93	電子音	80
スタンダード	30, 60	電子先幕シャッター	94
スポーツ	50	トイカメラ	62
スポット測光	90	動画	73, 77
スマートズーム	38	動画記録設定	74
スマートフォン転送	96	動画記録方式	74
スマートリモコン内蔵版	88	登録	70
スマイルシャッター	91	登録呼び出し	70, 92
スライドショー	97	時計合わせ	28
スローシンクロ	40	ドライブモード	66, 68
設定リセット	99		
セピア	60		
ゼブラ	92		
セルフタイマー	68		
全画素超解像ズーム	38		
像面位相差AF	56		
測光モード	90		
ソフトウェア	81		
ソフトハイキー	62		
ソフトフォーカス	62		
タ行			
ダイヤル/ホイールの設定	95	バージョン表示	99
ダイヤル/ホイール露出補正	95	パートカラー	62
ダイヤル/ホイールロック	95	ハイコントラストモノクロ	62
タイルメニュー	98	パソコン	81
ダイレクトマニュアルフォーカス	59	パソコン保存(Wi-Fi)	96
ダウンロードアプリケーション	87	バッテリー	21
縦横比	89	花火	53
調光補正	89	パノラマ	48
長秒時NR	91	パノラマ: 画像サイズ	89
ディープ	60	パノラマ: 撮影方向	48
JP定常光	94	バルブ撮影	53
		パワーセーブ開始時間	98
		ピーキング色	93
		ピーキングレベル	92

ピクチャーエフェクト	62
飛行機モード	96
ヒストグラム	42
瞳AF	57
美肌効果	91
ビビッド	60
ビューモード	97
ピント拡大	91
ピント拡大時間	92
ファイル番号	99
ファインダー明るさ	97
ファインダー色温度	98
ファインダー撮影	18, 42
ファンクションボタン	32, 71
ファンクションメニュー設定	71
風音低減	92
風景	50, 60
フォーカスエリア	55
フォーカスマード	54, 90
フォーカスロック	55
フォーマット	79
フォルダー形式	99
フォルダー新規作成	99
ブラケット	66
ブラケット順序	94
フラッシュモード	40
プラビアリンク	98
プリAF	93
プリント	79, 97
プレミアムオート画像抽出	94
プレミアムおまかせオート	36
プログラムオート	37
プロテクト	97
ヘルプガイド	11
ポートレート	50, 60
ポスタリゼーション	62
ポップカラー	62
ボリューム	77, 98
ホワイトバランス	90

マ行

マイフォトスタイル	69
マクロ	50
マニュアルフォーカス	58
マニュアル露出	53
マルチショットNR	65
ミニチュア	63
メディア残量表示	99
メニュー	33
メモリーカード	21, 104
モードダイヤル	46
モードダイヤルガイド	98
モニター明るさ	97
モニター表示	42

ヤ行

夜景	50, 60
夜景ポートレート	50
夕景	50, 60
横縦比	89

ラ行

ライト	60
ライブビュー表示	93
リセット	99
リッチトーンモノクロ	63
リモコン	98
レトロフォト	62
レンズ	20, 26
レンズなしレリーズ	93
レンズ補正	94
連続撮影	66
露出設定ガイド	93
露出値ステップ幅	90
露出補正	64
露出補正の影響	94
ロックオンAF	56

ワ行

ワイヤレス	40
ワンタッチ(NFC)	88, 96

アルファベット順

AF(オートフォーカス)	54
AF駆動速度	90
AF追従感度	90
AF微調整	94
AF補助光	90
AVCHD	74
AWB	90
A(絞り優先)	51
DISP	42, 92
DMF	59
DPOF	102
DRO/オートHDR	90
Dレンジオプティマイザー	90
Eye-Fi	98
FINDER/MONITOR	93
Fn(ファンクション)ボタン	32, 71
HDMI解像度	98
HDMI機器制御	98
HDMI情報表示	98
Image Data Converter	84
ISO感度	65
JPEG	45
MACアドレス表示	96
MENU	33
MFアシスト	58, 92
MF(マニュアルフォーカス)	58
MOVIE(動画)ボタン	73, 95
MP4	74
MR	70
M(マニュアル露出)	53
NFC	10, 19, 88
PlayMemories Home	81
P(プログラムオート)	37

RAW	45
-----	----

Remote Camera Control	86
-----------------------	----

SCN	50
-----	----

SSID・PWリセット	96
-------------	----

S(シャッタースピード優先)	52
----------------	----

USB LUN設定	99
-----------	----

USB接続	98
-------	----

WB	90
----	----

Wi-Fi	10
-------	----

記号・数字順

4K静止画再生	97
---------	----

その他

レンズ交換式デジタルカメラ取扱説明書および付属ソフトウェアの最新サポート情報(製品に関するQ&A、パソコンとの接続方法、使用可能なメモリーカード、アクセサリー互換情報など)は下記のホームページから

『α』専用サポートサイト

<http://www.sony.co.jp/DSLR/support/>



ソフトウェアのサポート情報

<http://www.sony.co.jp/support-disoft/>

『α』オフィシャルサイト

<http://www.sony.jp/ichigan-e/>

レンズ交換式デジタルカメラの最新情報、撮影テクニック、アクセサリーなどに関する情報を掲載しています。英語の取扱説明書のダウンロードもできます。
(English manual download service is available.)

よくあるお問い合わせ、窓口受付時間などは
ホームページをご活用ください。

<http://www.sony.jp/support/>

使い方相談窓口

フリーダイヤル…………… 0120-333-020
携帯電話・PHS・一部のIP電話… 050-3754-9577

修理相談窓口

フリーダイヤル…………… 0120-222-330
携帯電話・PHS・一部のIP電話… 050-3754-9599
※取扱説明書・リモコン等の購入相談はこちらへお問い合わせください。

FAX (共通) 0120-333-389

左記番号へ接続後、
最初のガイダンスが
流れている間に

「402」+「#」

を押してください。
直接、担当窓口へ
おつなぎします。

ソニー株式会社 〒108-0075 東京都港区港南1-7-1

<http://www.sony.co.jp/>